京城日報

八日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 前金三ヶ月分金一圓六十五錢 廣告料 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

◎支那決定方針

段總理歸任と共に實行に進むべき段內閣決定の外交方針は其の大要左の如し（北京特電）

一、日本を始め協商國に對し對獨斷交の決定及び將來の行動につき双方協議解決する旨通牒すること

二、各省督軍に對し外交關係を詳細に說明し對獨斷交の已を得ざるを述べ其の贊否を求め通電を發すること

三、以上二項の手續を終りたる後正式に國會に報告し獨逸と國交斷絶の已を得ざるを說き其の同意を求むること

四、正式に獨逸に通牒を發し國交斷絶を宣言す

五、駐獨支那公使以下の官憲を召還し在支那獨逸公使以下官憲に旅券を交附す

六、在支那獨逸人の處分は中立事務局の決定に從ふ

▲外交問題は內閣に一任 兩三日中に大展開か

黎總統は今回外交問題を內閣に一任するとを約し段總理の歸任を諾せしめたるものにて段總理著京の上は既定の方針にて外交を進むるは勿論なるより兩三日中に大展開を見るべく期待さる（北京特電）

▲段總理政務を執る

七日午前九時黎總統段總理の會見行はれ互に胸襟を披きて懇談せる結果段總理は直ちに政務を執る事となれり段氏歸任に就きては何等の條件なし（北京電報）

◎墺國の對米回答 獨逸の潛航艇戰策に關し

倫敦來電に依れば墺國は潛航艇戰問題に關する米國の質問に對し獨逸の政策を是認する回答を駐墺米國大使に交付して曰く墺國は中立國人の生命は充分に保護すべしと述べ米國の提議に贊同するものなれども中立國人は航海を禁止されたる區域に侵入せざる樣既に充分なる警戒を與へられたり故に此の禁止を破るに於ては中立國人自身其の損害の責に任ぜざるべからずと云々（紐育電報）

◎集合試驗決定

教育界の問題たりし高等學校入學集合試驗は此程調査終了愈々集合試驗實施に決定せり（東京電報）

◎朝鮮製糖進捗

朝鮮製糖株式會社發起人會を開き創立事務の進捗を圖れり（東京電報）

◎郵船問題解決 臨時株主總會

日本郵船株主一千四百名の要求により未拂込株金拂込增資配當等の諸案を附議のため七日召集したる日本郵船會社の臨時株主總會は澁澤中野兩氏等有力實業家の斡旋ありし結果原案を附議せざる事に決定無事終了せり（東京電報）

◎醫官見學派遣

總督府にては大正三年來總督府醫院並に道慈惠醫院醫官等をして每年東京に開催さるゝ日本醫學會に列席せしめ兼ねて內地大學病院其の他に就き見學の便を與へ廣く醫術の研鑽に資し來りたるが本年もまた左記道慈惠醫院長を派遣に決し八日附を以て東京市出張の辭令を發せり

道慈惠醫院長（水原）藤井班象
同（公州）秋田義彰
同（尙州）井鷖精一
同（平壤）內村安太郎
同（義州）有馬長次郎
同（楚山）河木壽登
同（鏡城）齋藤糸平

因に前記諸氏は二月下旬より夫れ夫れ出發す可く滯京期間は凡そ一週間なりと

◎兩醫官渡歐

渡歐を命ぜられし河野氏家所總督府醫院醫官は八日朝發鮮滿直通列車にて北行したり

◎貴族院團北行 或は諾威より引返さん

伊太利羅馬に於ける萬國議員會議に本邦上院を代表し列席する貴族院議員帝大教授工學博士子爵大河內正敏同加藤恒忠同院書記官河井彌八氏の一行は既報の如く八日朝南大門驛通過北行の鮮滿直通列車にて渡歐の途に就きしが秋山大將は一行中の加藤氏送迎の爲め龍山南大門間に乘車會談せしが加藤氏は何分獨逸潛航艇跋扈の爲め海上危險に付諾威英國間の便船發否不明從つて或は行程果さず露國若くば諾威より歸朝の外なきやも圖れざる旨語りつゝありしと

◎公立學校長會議

京畿道公立學校長會議は八日午前九時より京畿道廳內會議室に開催諮問事項の答申ありて午後四時閉會せり九日は松永道長官の訓示及び諮問ありて散會の筈なり

◎立花中將歸任

平壤聯隊西朝鮮安州附近に於ける第十九師團の現地戰術視閲のため出張中なりし第十九師團長立花小一郎中將は八日朝龍山著列車にて歸任せり

◎警務總長巡視

古海警務總長は近く京城府內各警察署及び憲兵隊分遣所を巡視す可しと

◎古海中將龍山行

古海警務總長は八日午後一時稲田大佐歡迎の爲め龍山官舍に赴けり

◎稲田大佐歸東

七日夜歸國より入京せる稲田大佐は八日各方面を歷訪し同夜出發歸東せり

◎鈴木中佐通過

露國大使館附武官鈴木海軍中佐は露國より歸朝の途八日午後七時三十分著同五十分發列車にて通過歸東す

◎廣瀬主計監歸任

南鮮巡視中の廣瀬軍經理部長は八日午後八時五十分龍山著列車にて歸任せり

◎河內主計正歸朝

久しく獨國にありし陸軍省經理局衣糧課長河內一等主計正は歸朝の途十一二日頃入京兩三日滯在の上歸東すべしと

◎野田技師東上

野田總督府技師は箕部五十年記念博覽會に關する要務を帶び八日朝出發東上せり

◎樺山滿鐵理事

滿鐵理事樺山資英氏は八日朝南大門驛著の鮮滿直通列車にて北行歸任せり

◎人見課長歡迎會

農商工部食堂有志は七日午後七時より人見農務課長を花月に招待、歸朝歡迎會を開けり

◎第一部長著任

今回全羅南道第二部長より江原道第一部長に榮轉の須藤素氏は家族同伴六日午後三時松田京春自動車にて著春官民愛國婦人會々員各學校生徒其他出迎人盛んなりき（春川）

◎釜山煙草界近況

釜山府管內に於ける煙草製造並びに販賣の狀況を聞くに大正四年度中の消費稅額は一萬二千九十一圓十九錢なりしに同五年度初期より本年二月末日迄の同稅額は七千九百十五圓〇七錢にして前年の同期一萬一千三百十四圓六十九錢に比し三千三百九十九圓六十二錢を減せり之れが理由は昨年は麥の收穫期に際し長雨打續き爲に麥穗を腐敗せしめ收穫を減じたると夏季瓜類の不作に加へ米價低下を來し且つ初秋の候より虎疫流行の爲め沿海漁撈を禁止せられたる等種々の事情に因りて地方購買力を減ぜしに因る結果に外ならず而して客年四月より本年二月の間に各種煙草の製造屆出を爲したるは

口附紙卷煙草	三〇、五五七、四六〇本
兩切紙卷煙草	二一、一六〇、一〇〇本
刻煙草	三九三三貫〇八〇匁
葉卷煙草	六〇〇〇本

なるが以上の中昨年十月及び十一月に於て東亞煙草會社の製造品の定價改正を行ひたる際市場より買戻しを爲したる口附紙卷煙草十八萬七千六百本兩切紙卷煙草千八百十三萬二千九百八十本を含み居れるを以て自然右數を減除せざる可らず實際釜山製造品の賣上金は僅かに七萬九千百五十九圓七十七錢五厘に過ぎず現在釜山に於ける製造業者は九軒にして村上平三、石田兵吉、福島倉太郎を主とし他五軒は其製造高微々たるのみなり而して釜山に輸入する東亞煙草會社製煙草は前年度中に於て七十七萬八千八百五十六圓九十三錢にして外國製葉卷煙草は一萬八千二百四十二圓二十三錢、刻煙草は三千百二十三圓八十六錢にして其他は全部東亞及び各地の紙卷煙草なるが現在釜山に於ける販賣者は卸賣五十八戶、小賣二種（年販賣額三百圓以上）百〇九戶、小賣一種（同上三百圓以下）七百十八戶なりと（釜山）

◎輕鐵一期工事入札

朝鮮輕便鐵道會社は第一期工事中大邱浦項間二十五哩は土地收用其他一切の準備を終へたるを以て工事請負入札の指名を爲したる上東京本社重役會議を經て近く一週間以內に工事請負の入札を行ふ筈なるが大邱驛は現在京釜鐵道大邱停車場構內に引入線を布設し京釜線と連絡を爲す設計なるより同構內三百餘坪を輕便鐵道會社事務所倉庫等に使用すべく既に同敷地內に所在の驛員合宿其他の建物を他に移轉せしめ居れりと（釜山）

◎露貨下落

東滿及び烏蘇里線の場合は三月五日以降當分の內日貨一百圓に付露貨百八十八留に變更從來に比し五留方の下落なり

◎京電軒燈工事

京城電氣會社の新規考案たる軒燈取換工事は本月一日以來先づ本町通りを一丁目より著手し既に一二丁目を終了し今や四丁目の軒燈工事著手中なりと

◎平南各銀行出納額

平壤 道各銀行大正五年中の金銀總出納額を調査するに前年度繰越金一二〇五七八圓五年度入金一七四一六三九〇圓出金一七三九一五七九三圓にして五年末現在三七三一八六圓なりと云ふ因に銀行名を掲ぐれば平壤本店同鎭南浦支店同安州支店朝鮮銀行平壤支店同南浦支店三和銀行漢城銀行支店百三十銀行平壤支店等なり

◎仁川

▲公立各校卒業式 仁川公立各學校に於ける卒業修業式（不順）左の如し ▲商業專修學校（二十一日）▲高等女學校（二十三日）▲尋常高等小學校 ▲普通學校（二十四日午中）

▲幼稚園入園兒童 仁川公立幼稚園現在收容數は六十名にて來る四月より小學校に入學すべき兒童は約四十五名に達する由因に入園希望の向きは來る二十日迄に屆出でられたしと

▲叺入津益々擴張 沿岸地方よりの仁川入津益々活況を呈し每日二千束の荷揚あり且つ鮮人雜穀叺は一時各地方の需要多く仁川廻著[illegible]昨年末來荷動き不[illegible]の爲め需要捗々しからざる結果[illegible]と共に製造增加せる關係上[illegible]は叺の山を築きつゝ有り

◎開城

▲經濟狀況 二月中金融は[illegible]市場は[illegible]商人の旅立[illegible]商人持去りの正金は此種商人の持去る所となり市場の資金の減少を來し[illegible]二月末は鮮人間の大決算期なるにより此期節の至るに及んでは金融は又々逼迫を免れざるべし

▲銀行帳況 二月末開城農銀支店の預金現在高一四二、八四二圓貸出現在六三二、五六二圓、漢銀支店預金現在三五、二八七圓貸出現在一四八六二〇圓なり、預金の減少は他地方の出稼商人の正金を持去りしもの其主たる原因ならんか

▲農事講習會 開城郡にては本月十二日より五日間松都面事務所樓上に於て短期農事講習會開催の筈なるが講習會は各面より選拔したる者三十名講師は直江農業教師小倉畜産技手其他にして科目は普通農事並に養蠶畜産等なりと

▲農友會 開城郡內に於ける恩賜授產事業修了者農事實習員養成所修了者農事講習會修了者其他農事教育を受けたる者は約一百八十名に達するを以て是等の全部を會員とし農友會なる者を組織し農事に關する智識の交換をなし一般農民の模範となり農事の改良發達を圖らんとの計畫あり本月十七八日頃開城に於て發會式擧行の豫定なりといふ

▲鑛山賣買 延白郡梁浦の金山は是迄鮮人林某氏の經營なりしが過般內地人鑛業家谷口某氏買受經營する事となれり

◎堤川

▲守備隊通過 淸州方面に行軍中なりし平昌守備隊兵員百名は橋本中隊長引率歸隊の途四日堤川に一泊五日平昌に向つて出發

▲讀書俱樂部 堤川官民有志間に讀書俱樂部創設の議起り山田氏專ら斡旋中なるが入會者頗る多く二十名以上に達すべし

◎群山

▲軍用米買附 不二興業株式會社群山支店は白米原料として最近約五六萬石の大口注文を受け目下盛んに買附中にて第一回は三月二十日第二回は同月三十日受渡の契約にて既に數萬叺の買附を爲したる由

▲普校現況 群山普通學校の現況を聞くに現在生男生二百五十名女生七十三名にして本年度卒業豫定數は男生四十名女生七名內上級學校進學希望者は男生京城高等普通學校へ四名群山簡易農業學校へ二名にして女生は仁川商業學校へ一名女子高等普通學校へ一名其他は家事に從ふ者にて來學年度新入學生豫定數は男子百名女子四十名なり

▲開校十周年 群山公立普通學校は本年五月創立十周年に相當するを以て記念祝賀を兼ね大規模の學藝品展覽會を開催する由にて全北道內十八校他道所在七十九校に對し既に學藝品の出品方を勸誘し着々準備に怠りなく開期は五月十三十四日兩日也

◎大邱

▲大邱學校組合豫算 九日大邱學校組合會議に於て附議すべき議案は▲大正六年度大邱學校組合歲入出豫算案▲學校組合費戶別割並に使用料及び手數料未納滯納處分の件▲同授業料並に保育料徵收規程中改正の件▲同金庫事務取扱契約更新の件にして歲入出豫算は合計八萬八百五十六圓なり

▲盈德道路港灣期成會 設立認可申請中なりし慶北盈德及び江口に於ける有志の組織にかゝる道路港灣期成會は七日附を以て認可指令に接せり

▲專賣課種子配布 專賣課大邱出張所にては慶尙道に於ける內地種煙草耕作者の便宜を圖り該種子の取纏め及び配布の申込みに應ずべく內地に注文せし種子到著したれば八日より申込者に配布すべきを以て至急申出づ可しとなり

▲消防組發會式 慶北達城郡玄風邑內にては既報の如く消防組を組織せしが愈々去る五日同地稲川市場に於て發會式を擧ぐ臨席者小串田館大郎署長、荒川達城郡守代理其他にして開式第一小串田署長は機械の點檢を爲し與招組頭開式の辭二木副組頭の答辭餘興には火災實地消防演習等ありて午後二時閉式せしが近來稀なる盛會なりき

◎釜山

▲先月郵便貯金爲替 釜山郵便局に於ける二月中の郵便貯金爲替取扱高は爲替受入は五萬五千七百四十二圓八十二錢口數一千九百八十六口拂出十三萬九千〇九十三圓五十九錢口數千九百四十九口にして貯金預け入は一萬三千二百三十五圓三十六錢此口數二千三百八十三口拂出一萬〇八百七十一圓八十四錢此口數六百十四口なりと

▲鑛物分析所設置 釜山商業會議所評議會の議に上りたる鑛物分析所設置の件に付過日總督府農商工部に之れが許否の內意を伺ひたるに對し同部より五日附を以て分析所の設備目論見書及び分析依賴者の見込數並びに收支計算等を調査の上右書類を提出すべき旨通知ありしを以て同會議所にては其々調査中なりと

◎馬山

▲海軍病院完成 鎭海要港部の海軍病院は今回新たに前經理部跡を改修し過般來器械器具の据付け中なりしが此程に至り凡ての設備は全く完整したる由なるが同院內にはエッキス光線機其他醫學上必須缺くべからざる高價の器械器具漏れ無く具備せりと

▲水道の增設 鎭海市街には海軍が特設の水道敷設ありて一般人民も一定の條件の下に該水道を使用することを得つゝあれば水道敷設の各町は非常の恩典に浴しつゝありしが未だ一般に普及せず衞生上憂慮の點なきにしもあらざれば今回增設することゝなり目下工事を急ぎ居れり

▲馬校入卒業生 馬山公立尋常高等小學校及び實科高等女學校の本年入卒業生は小學校側は卒業生は男三十五名、女三十二名、計六十七名にして入學生は合計百五人實科校側は卒業生十二名入學生三十五名なり

▲馬鎭經濟狀態 馬山府及び鎭海市經濟狀態の現狀を報道せんに鎭海は艦隊の入港なき限り僅少の要港部員を唯一の華主として商工業其他各種營業を經營するものにして新たに何等かの事業勃興せざる限り資金の需要起らざるを以て昨今の金融界は大緩漫の姿に在り、又馬山府とても出穀期既に經過して背面農產地よりの著米漸次に減少し一方米價は依然として變動なく內地よりも大手筋の注文入電あらざるより市場は案外閑散を持續せり左なきだに數年來朝鮮の疲弊は購買力頗に減少し鮮人向雜貨の賣行きも捗々しからざれば之れ又大なる資金の需要なく朝鮮農銀本支店共閑散の中に經過せり因て一般金融も緩漫を極め居るが如し

▲馬山病院の擴張 同病院は私設として當地方に牛耳を執れるものにして近來入院患者の益々增加せるより愈々擴張の已むなきに至り此程熊本醫學士山內醫氏を招聘して眼科鼻耳咽喉科をも特設し德永醫學士院長の下に外科に大串醫學士婦人科に前原岡山醫學士其他醫師丹羽の諸氏に頗る多忙を極めつゝあり

人事消息

▲小林猪之助氏（明治炭礦技師）八日朝入京當館居留へ

▲三原新三氏（木浦鑛物分析所技師）同上

▲タフトンル氏（滿洲駐在英國領事）七日午後入京朝鮮ホテルへ

▲有田高一郎氏（朝鮮銀行總裁席秘書長）入京中の所八日朝南大門發歸釜

逐鹿夜話

△滋賀縣で國民黨が候補者選定に頭を惱ました時望月長夫仲小路與平次君などが藤井善助君を推薦しやうと打ち合せて居ると突然電話がかゝつて「モシ〳〵只今私の處で藤井の旦那さんが突然腦充血が起つて餘程御重態の樣ですからお知らせします」との事夫れや大變だと兩君飛び出して電話のかゝつた家に行くと病氣の筈の藤井君ニコ〳〵して髯を捻つて居るコレワ〳〵と兩君今度は開いた口が塞らず目を白黑して居ると次の室から陰り聲が聞えるのでソツト覗いて見ると反對派の柴田源右衛門君が氷の代りに蕨房の袋を手拭に捲いて額に括り付け畫圖の中から首を出して「ア、病人の眞似は最う廢めた」と言ひ出したので俺は閉伏にかゝつたかと大笑ひは罪がない

△憲政會員中他力本願の面々は今度も大隈侯を引張り出して應援演說をさせやうと每日交代で早稻田へ出掛けて哀訴嘆願して居るが大隈侯は唯ツム〳〵と許りで一向要領を得ぬので日參連中に隈侯不信の聲が高いみか推薦狀さへ滅多に書かうともせぬとは現金な話

△此頃例の東京神田の貸席松本亭で十日目に一度位政談演說會が開かれる主催者は政友會院外團の鐵心會さ云ふので僞黨撲滅を標榜し青年辯士等が盛に熱辯を揮ふが聽衆は何時もタツタ十人位で而も猛烈に野次る辯士が眞ツ赤になつて論じても大抵は野次り倒されるので一體全體ドウした演說會かと云ふに之れは一般の人に聞かせる演說會ではなくて政友會が地方遊說の際に出す爲に演說の試驗をするので野次は濱寄鐵五郞君や奧野市次郎君と云ふ千軍萬馬の老將に出入した豪の者で之れが即ち試驗委員で大抵の辯士は野次られて落第すると野次對抗の演說試驗は面白い

逝ける澤田中尉

◉噫、澤田中尉
競爭飛行中慘死す
一千米突の高空より墜落

八日午前八時所澤飛行場に於て伊庭中尉は制式（陸軍製作飛行機）に、中澤中尉は第二十一號に澤田中尉はカ式に分乘し三機入亂れて競爭飛行を試み居るも制式、二十一號機の兩機は速力カ式に及ばざる爲め中途着陸したるも澤田中尉操縱のカ式のみは獨り一千米突の高度を保ちつゝ所澤町より入間街道を飛翔中突如發動機より光焰を吐き木の葉の如く回轉して畑地松林中に墜落し機體は粉碎され同中尉は把手を摑みたる儘鼻孔より夥しく出血し仰向となりて慘死し居れり（東京特電）

◉御陵を冒せる不敬漢
一味徒黨十九名の判決
隧道式坑道を穿ちて寶玉を盜む
警官、村民六百餘名の包圍

崇仁皇后御陵、應仁天皇王子大山守奈良山御墓發掘事件は豫て記事の掲載を差止められゐたるが

≡取調べ　進行し七日差止命令解除せられたり。犯人山本庄吉、森田千太郎、中村新太郎、野田乙吉、小川辰吉、中谷正吉、城野奈良吉は懲役

≡十三年　山口岩松、西田岩吉、山口松太郎、山川由松は懲役十一年その外七名十箇月より懲役六箇月三百圓以下廿圓の罰金にそれ〳〵判決あり森本、廣田、山本、野田、中谷山川、城野は

≡控訴し　たるがその他は其な服役せり彼等は昨年五月中旬夜な夜な參陵し御陵の背後より鋤、鍬、鶴嘴にて隧道式坑道を穿ちて

≡石棺の　內外を探り寶玉を掠へ六月七日の白晝大膽にも同類五名を寄せ來りしを豫ねて感付き居りし御陵守が郡山警察署に急報し村民の

≡應援を　得て警察署員消防隊員奈良市青年會員等六百餘名驅集まり御陵を包圍し犯人が死物狂ひとなり三名は逃走したるも二名を逮捕したり逃走せる中一名は

≡重傷を　負ひたり彼等の竊取せし寶玉は勾玉七箇を始め四十六箇大形の古鏡より手頭を得て撿擧せらるるに至れるなり。惡漢は京都府下松原といふ特殊部落民にて

≡獰猛の　性質なるを以て知られたるものなれば逮捕に斯く大仕掛けの活動をなすに至れり而して贓品の寶玉等は輸出茶商七條七之助といふ骨董商兼業者とその弟山本庄吉等より買取せる事後見全部押收せられたり（大阪特電）

◉雷管爆發
巡査部長と小使の大火傷

七日岐阜市櫻町警察部長官舍にて遊獵に使用の火藥と雷管を誤つて落したるに大音響を發して爆發し天野巡査部長は頭部に小使松村某は左足に大火傷を負ひ入院せり（大阪特電）

◉檢便開始
京畿道の虎疫警戒

朝鮮にては昨年虎疫終熄以來幸に新患者の發生を見ざれども對岸下關を始め內地各方面にては今猶陸續として新患者發生し危險の虞れなしとせざれば朝鮮各道にても此の際充分なる警戒の要あり京鐵道にては本月初めより檢便を開始し專ら昨年罹病せるもの又は市內適宜の便所より資料を採り試驗中なるが既に檢便六百餘件に及びたれども未だ病菌を發見せず又南鮮地方に於ける昨年の流行地にも等しく檢便を行ふ筈なりと

◉職工百餘名同盟辭職
一同結束して門司より大阪へ

下の關市外彥島三菱船渠鐵工部職工約百八十名は過般來工賃値上の要求中なりしに七日突然五十名の職工解雇となるや殘りの職工門前に押寄せ不穩の擧動ありしかば下の關警察署警官鎭撫せしもその甲斐なく同日百餘名同盟辭職を爲し其中七十名は七日三十名は八日に一同結束して門司發商船會社汽船にて大阪に向ひたり（門司特電）

◉暴れ男

黃海道瑞興郡陽面梧里趙在弼（三六）は二月六日夜同里尹信永（三二）の妻金姓女（二二）と自宅にて密會の現場を信永より發見され其場は謝罪して事濟みたるも同夜出刄庖丁を携へ信永方に暴れ込み同人を殺害せんとして二十餘名の里民に取押へられ在弼は瑞興憲兵分隊にて取調べの上檢事局へ送られたり

◉自動車河中に墜落
乘客八名重輕傷を負ふ
慶北金泉醴泉間利安河畔の椿事

緘居自動車部經營に係る慶北金泉醴泉間の自動車が去る五日咸昌を南に距る約一里の地點を運轉中利安河中に轉覆せし椿事あり同所は目下水害復舊改修工事中なれば自動車は

≡假道路を徐々　に進みつゝありしが利安河に架しある利安橋に差かゝるや稍々坂路なりしを以て運轉手も充分の注意を拂うて車體を操縱し八分通り坂路を過ぎし頃如何なる機みか車體は斜に外れアレヨと叫ぶ間もなく自働車は約六尺の高所より河中に轉落せしが充分に制動機を使用し得られざる事とて中途

≡車體は逆轉し　て與運惡く乘客八名は重なり合て泥水中に落ち込みたり幸に改修工事に從事中の人夫は逸早く鮮人を呼び集めて現場に驅け付け自動車の硝子窓等を破壞し漸く乘客を救出せしも乘客なる岸慶北道技師は強く腹部を打撲し重傷を負ひ步行自由ならず石橋尙州郡機業技手は泥水を飲みて下痢甚しく出血其他の乘客も多少の負傷をなしたるが他の乘客曹長は直に咸昌より公醫を招き應急の手當をなし輕傷者は徒步又は自轉車にて尙州に赴きたり是が轉覆の原因に就ては尙州憲兵隊にて運轉手三好利作を取調べたるが未だ

≡原因詳ならず　機械の一部に故障を生じたるとも云ひ運轉手の不注意とも云ひ兎も角近來の椿事なり而して當時の乘客は左の如し因みに重傷を負へる岸道技手は七日大邱に歸著療養中なりと（大邱）

▲錦務部尙州出張所長技師淺尾太郎氏▲慶尙北道技師岸秀次▲大邱憲兵隊本部憲兵曹長田京鎭之助▲尙州郡農業技師石橋龍之助▲運轉手三好利作▲外鮮人一名憲兵二名

◉談合事件公判
開廷期日變更

四月十二日に上告公判開廷の筈なりし談合事件は花井、鵜澤、小川、勝本、大井、木尾、朝倉、安住、內田の諸氏等合計十一名の辯護士出廷期日を變更して三月十四日高等法院に於て開廷すべしと

◉馬驚いて線路へ

七日午後二時二十分頃京城電氣株式會社の西大門行五十五號電車が古市町を進行中荷牛車の荷馬車輓車雲善（三三）が馬及び車を路傍に放置して他行したる爲め驚きたる馬は線路に走り込み昇降口を少しく破損し停まりたりと

◇南大門驛にて（北へ）貴族院を代表して欧洲視察の途についた貴族院議員大河內正敏子、同加藤恒忠氏書記官河合彌八氏の三氏は八日南大門驛を通過して北へ向つた『これから行くものが何の話を持つてゐるのですか』と微笑を殘しながら……（右より大河內子、河合氏、加藤氏）（南へ）前李王職事務官の村上氏夫人は七日の夜行列車で東京へ歸られました停車場には國分、石塚、國分、久水、城、原口、山形、三木、朝倉、金谷、崎尾、山口、山形、中村、山田、久芳夫人等多數のお見送りあり、何れも卅九年以來のつきせぬ名殘を惜まれました、村上夫人は豫て琴曲の名手で、殊に謠曲、茶道にも趣味を有つて居られました。それに愛國婦人會の評議員として京城婦人會の世話役として京城の社交界に盡力されましたゞけに深山でございました（寫眞下村上夫人）

◉鹽化工業創立委員長就縛

日本鹽化工業株式會社創立委員長兼取締支配人中村中は香川縣にて捕縛岡山へ護送せられたり（大阪電報）

◉持餘した女房
警察へ說諭を願出づ

仁川松林里二百四十五番地高二男（三五）は妻金氏（三七）を十一歲の時娶りたるも妻は性來多情なる爲め屢々他の男と密通し昨年五月中も家出して情夫方に潜伏し居たる形跡ありたるより高二男は後來を戒めんと髮を根元よりぐつさと切斷したり然るに金氏は數日前又復家出をなし行衛不明となりたれば高二男は驚いて搜査し漸く連れ歸る事を得たるも不安の爲め今度は仁川警察署に出頭して妻の不心得を說諭して吳れる樣願出でたりと（仁川）

町內のご自慢
▲明治町二丁目▼
＝總代さんは討手の大將

□何と言つても京城の目拔だ

明治町二丁目は本町通りの北側から佛蘭西敎會堂前通に連る市街の中央西は支那領事館附近から東は敎會堂を境界とするそれに本町通から黃金町に通ずる明治町筋は先づ東の櫻井町と並んで繁昌な町並、裏の山本旅館前通り香昭町も相應に賑はふ

○此の町は現在も將來も京城の心臟たる位置を脫れる心配なく、殊に四通八達の要地に在る、地價は明治町通りの最上地で現今一坪六十圓、將來京城の町が何う變つても下落する憂ひは先づなからう、町の名物は何と云つても支那領事館、ポプラや白楊の靑葉陰には朱塗りの家が見えて蟬時雨!!

○これは又一寸際立つた聲

○さても夏はゴロ〳〵となき出す町の人はあの廣大な庭を算盤にはじいて『貴下それ賣るよろしい』と相談すれば『不富士英樣は較本!!』せめて通り向きを五間位ゐでも店舖に貸すと良いがなあ!!とは一般の希望、しかし熱鬧の町の黃塵を避けて綠陰をわたる春嵐!!晩春は芍藥にそゝぐ海棠の雨!!また黃塵を洗ふ仙境として町の中央に必要かも知れぬ、それにはまた

○今年の支那公使意使館氏が全半島に羽振りを利かした物語りも領事館を訪れる人の思ひ出の種であらう、建物としては、また京城最初の漢城病院がある今は空家となつて居れど和田ドクトルが院長時代守備隊や居留民の診療に努めたところである、町の人物には總督醫院の森安博士が居る東亞煙草の杉山孝平さんが居る、それにまた

○雜貨屋の牧野照田さん

○剃毛き床屋さん、といつた俳人の虎耳も此のあたりで高麗燒をひねくり廻す、總代の城六太さんは廿八年以來の明治町の住人、町の名は舊名明洞に因むで明治の盛代を記念する爲めにつけました、私の來た時は佛蘭西敎會堂の屋根が葺きかゝつた時で本町通りでは雞屋の傍に日本人が少し居たきり毎年秋の時雨のふる頃には行李を纏つて逃げ出す用意が恒例になつて居ました、それは秋になると殆んど決つたやうに

○朝鮮の暴徒が日本居留地を

○襲ふので私共は殆んど半分商賣して半分は兵隊になつたやうなものでした、中にも親日派の金宏集內閣が倒れた時などは森勝さんや私などは光化門前でやられかけた事もあつてそれは〳〵危險でした、懲膺時には此の城六太は明治町の討手の大將、なか〳〵偉う見られても働いたものでござんした……」

明治町二丁目總代　城六太君

◉芳川伯爵家、若夫人轢死を企つ

芳川伯養子寬治氏夫人鎌子（三七）（芳川伯三女）は七日午後七時千葉に於て轢死を企てたるも危うく一命を取止めたり（東京電報）

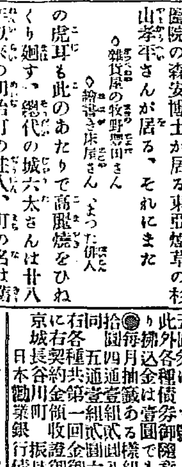
生徒募集廣告
本科第一學年生徒五十名
技藝科第一學年生徒五十名
右募集す
志願者は本年一月十七日以降の朝鮮總督府官報を見よ尙詳細は本校又は平安南北道黃海道管內各公立普通學校に就て承合すべし
大正六年三月
平壤女子高等普通學校

今朝出立の節は御見送り被下難有御厚禮申上候
三月八日
河野衞
氏家參顯
古城貞

注意廣告
牛耳洞櫻樹所在地域を同洞住民二十七名より曾つて二十年間の地上權を獲得し今後尙ほ十五年間兩人の使用權に屬し洞民等の關係なし若し兩人の承認なき者は同地域に於て何等の設備をも爲すを許さず此段廣告す
大正六年三月七日
京城太平通二丁目百二番地　大垣丈夫
京城通信社　淺岡重喜

當籤廣告
當所取扱にして三月一日抽籤
割增第五八回五圓附陽原內藤岡一殿
第五八回五圓附平壤島田寅之助殿
金一萬を號五圓券十圓附京城梁正煥殿
右は去る二月の新加入にして三名共第壹回掛込みにて當籤したるもの候此段廣告候也
日本勸業銀行債券月賦販賣所

一等貳千圓　陸四月抽籤債券月賦販賣致し升
割增金券は六三、五四、四八、四七回
拾圓券は壹圓で御隨意に御申込に依
五圓外各種債券ちる號
此拂込金は壹圓でも御隨意
り毎月抽籤ある組八組六拾錢宛二十五ケ月
◉圓四通壹組貳圓初回拂込金
拾五通壹組貳拾錢宛二十ケ月
同種共第一回金證御送金になれば直
右契約金領收御送り致します
に長谷川町振替京城三五七五番
京城日本勸業銀行債券月賦販賣所


カクジツノ種苗店!!
農家便覽
御申越次第無代で進呈致します
右は精良なる內外の種子苗木花卉盆栽農具園藝器具肥料驅蟲劑等弊園販賣品の總入說明附總目錄で有ります
東京澁谷及赤坂
東京興農園
電話芝一〇五八　電話新橋二四三三

質
大口歡迎
京城黃金町二長橋前入　電話二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

京城黃金町三丁目　電話二四四三番　振替京城三二二八番
內科、眼科
小兒科
本田醫院
院長　本田建義

痔核。痔瘻。脫肛痔
裂痔。痔出血。直腸脫
本田醫院附屬
京城肛門療院
肛門病の話　附痔疾特種注射根治療法　解說進呈　遞信は郵券二錢要す

髮をしなやかに
丈長かく
美しく房々と
黑く
漆のやうに
するは
廣い世界に
『たつたーつ』
パール
煉香油
があるばかり
……とは……
パール愛用者が
おつしやる
實話であります
本舖　東京　平尾銑也商店
關西代理店　大阪　平尾贊平支店

天氣　くもり　曇り時々晴れ　三月九日

●高等普通學校 卒業生と就職

今年は各學校の競爭が烈しい

高等普通學校敎諭某氏は卒業生の就職に就て語る、昨年の卒業生は只一人の生徒を殘しただけで皆其々納まりが著いた

▼其の三分の一は官吏に三分の一は銀行會社の方へ這入り一は進んで學問をする連中でありました今年は各學校よりの競爭は案外に烈しくて卒業生の就職も意の如くならぬ有樣であります、內地が御承知の通り好景氣であるから內地の學校の卒業生は大槪彼の地で納まりが著て居るのは

▼何よりの仕合せであります、會社銀行の注文は卒業の席順よりも字が立派に早く書けて算盤が上手で根氣の好いものを好みます就中根氣の强いものを最も選ぶやうで學校の成績の如きは要するに第二の問題となつて居ります云々

●この春の 流行の洋服は

英國型か米國型か

重い外套を脱ぎすてゝ輕い間著に散歩の樂しい時候となりました。本年の春向きの洋服は、地質はホームスパン、薄ラシヤ等が全盛で

●流行の色 としては薄色の茶があります。米國風の背味のあるものを好む人もありますが併し十人好きがして人柄なのは薄茶で、それへ細かい立縞の入つたものが色氣も輕く

●見るから 春らしい柔かな調子を持つてゐるので評判がよろしい。一時格子縞の流行つたこともありますが、今年はこれは全く廢つて[illegible]

●特に華美 なものを好む人が注文する位になつてゐます。年をとつた人には鼠色の霜降より、もつとさつぱりした明るいものがありますが、喜ばれてゐます。仕立は從來のものに比べて全く變つたところはないが

●先づ全體に 襟が上の方に上つてゐます。尤も米國型と英國型とではその上り方にも差があつて米國型は襟巾が廣く高くなつてゐますが、見た所品のよいのは英國型であります。胴は固いのが

●一般の好み でしたが本年も益々固いのが好まれてゐます。殊に米國型は無理に前に合せなければ釦がはまらない位で腹から腰へかけてすんなりと廣がつたのは英國型です。前は主として片前のもの

●兩前は今 は略式になつてゐます。釦は二個付三個付それぞれ好みによりますが、大抵二個といふ所が普通でせう。ズボンは細くしつくりと身についた方で裾の折返しは餘り流行しません。

♣小供の春

▽お本を溫めて 溫いお話を

♣毎日十時ごろになると赤いマントや赤いリボンがお辨當をブラブラ振り廻して、元氣に唱歌を唱ひながら樂しいお伽噺の郷をめざして集つて來ます。

♣餘程寒くつても、もう三月ですから樂ですが、北漢山颪が鼻をもつて行き相な三寒の酷い朝でも、歩きにくい雪の日でも犬ころの樣に飛びながらも遲れずに通つて來ました

♣並木町から來る兄妹三人連れの子が大和町邊りで餘り寒むかつたので、つい緊張めた心も緩んで三人とも泣いて居たのを、女學校へ來る通りかゝりのお姉さんに送つて貰つて來た事もありましたが、それでも餘程遠方の兒の他は、皆お友達と手を繫いで頰やお鼻を眞赤にさせ、痛い樣な風にも怖じずやつて來ます。

♣風さへ溫い春、小鳥が囀る春、赤く花が咲く春、子供達はどんなに春の來るのを待ち遠しがつて居た事でせう。

♣何日かも一番幼い女の兒がお宅から持つて來た讀本をストーブに翳して溫めて居ました。大きなお友達が寄つて來て何をしてゐるのと聞きますと、御本を溫めて先生に溫いお話をして頂くのだと云つた相です

♣就中今年は酷寒がつゞきましたので子供達が春を迎へて嬉ぶ事は又一層です。今朝は宅のお庭に鶯が鳴いて居たとか、昨日は溫室のアネモネが[illegible]に咲いたとか、思ひ〳〵に可愛い春の消息をとり交して心から嬉しさを感じてゐます。

●傷病兵慰問 慈善演藝會

▽十七日午後七時より ▽有樂館にて開催

聯合國傷病兵慰問金募集の爲め愛國婦人會朝鮮本部役員發起となり慈善演藝會開催の議ありし事は既報の如くなるが同會にては七日午後二時事務所に常務委員會を開催協議の結果十七日午後七時より有樂館に於て行ふ事に決せり入場券は特別券一圓五十錢、普通券一圓、赤券五十錢にて夫より篤志者に對し夫れ〳〵其の引受方を依賴する筈なり

香水のにほひ

百花が其々特有の芳香を放つて競ひ咲く春、人の嗅覺はおどろく程鋭敏になつて來る。そして美しい春の粧を一しほ匂はせる爲にあれこれと香水の撰擇が盛んになつてまゐります。香は季節によつて流行があるが、又人々の好不好きもあるが、今一般に最も歡迎されて居るのは薔薇系統であります。白薔薇は男向、赤薔薇はそれよりもずつと甘く、婦人によろこばれます。ボーナッツリスや鈴蘭の柔かなのも多く出る。婦人用としては甘いのが普通であるが人々によつては强いのを好むのがあります、香ひの高いのではジャスミン之は黃水仙、木犀、ローズを合したやうな香で淸新人を壓する、佛國製のアムール、之は一寸フリジャの强い香に似てゐて畏くも宮內省御用である、それからオリヂナル、之は本邦製で芳香の原料をあつめて精製したもので、香がよいばかりでなくながくその香を保つて居るので人々によろこばれ高貴の御用もあるやうにうけたまはつてゐる。

◉京中卒業式

京城中學校にては來る十三日午後二時より同校舍に於て第五回卒業生に對する卒業證書授與式を擧行すと

●國柱會京城局の研究會（初音町）

講師伊東智靈氏には今回下ノ關、大阪、京都、名古屋、三保、淡路、東京に至て開かるべき國柱會の大集會佛道日蓮主義大講演會に參加すべく七日午前八時の發列車にて出發京城は約二ケ月後の豫定なるが伊東講師不在中と雖も日蓮主義研究會は每月第二、第四の土曜日の午後七時より開く由

▲鰈の酒蒸し

鰈を尾頭を取り鱗をひき三枚におろし兩面へ鹽をぱら〳〵とふり暫く置き鹽の附し頭を皮に水で洗ひ布巾で水氣を取り別器にて酒に注け從く蒸籠は竹の皮を敷きその上へ皮肌を外に曲げ居の方を少し上に曲げてのせ蒸す火の通り心頭鹽を取り前の殘酢をかけ再び蒸して器へ取るには白黒に並べて上より摺生椒の汁をかけて備めます。

商況

東京債券現物特電

八日東京出來値 [illegible]

東京公債直取引特電

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

八日前場 先限 中限 當限 一四、九七 一五、二九 一五、五〇 止め

雜報

[illegible]

◉官鹽販路擴まる 原鹽及び再製鹽輸入高 官鹽即天日製鹽 販路擴張まり他の競爭品を驅逐して 土鹽は遂に自滅

朝鮮に於ける鹽の需用額は約一億萬斤以上にして此中土鹽即煎熬鹽は一億五千萬斤を超え大正五年度に於ては一億四千萬斤を超え官鹽は當初賣行き漸く[illegible]

◉紙類總て强硬 上げ行はれ第二回の値上 又和紙朝鮮紙

市中紙は去月二十日の內地同業者が決議せる値上げに伴はず依然保ち合ひ居りしが來る十日には第二回の値上げ行はれんとする模樣なるより內外とも氣配は一層强硬に傾き內地の決定次第直ちに値上げせむ筈なりと又和紙は諸官廳の需用見越しと商地[illegible]

京城正米

昨今地場精米は需要不振の爲め自然軟味の傾向あるに反し原料米は依然賣主の態度强硬にして精米筋は白米との採算不引合ひの事あるに共玄米は更に割高を唱へられ

白米玄米粮順次不採算

[illegible]

南浦筋及木浦筋が 高値に籾を買進む

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

仁川期米

▲八日前場 天候晴天前寄十五圓五十錢 昨日同事移入電一節高 大阪七節六十五錢と高移り 大阪八節七十錢と新高値に上伸 四十三錢

▲俄然伸惱む

[illegible]

市場零聞

[illegible]

田中全兵衛商店

仁川米豆取引所

八日の五月限

小賣白米

白米標準値

●練の支那輸出

支那商人の爲めに買付漸次騰貴

上海地方へ送る

●明太產地高 引締

利 森仲買店

◉難類煎昂騰

◉乾物類の市價

南大門の廻穀

仁川市現物場

穀物市場

生魚市場

當中兩限の一部解合成立 解合は噂に止まる

前場の手振

▲大に賣る ▲能く賣る ▲大に買ふ ▲能く買ふ ▲能く買ふ ▲當中解合談混沌 捕促し難き解合の成立の見込み立ち難し

▲大阪の成行 ▲庭入模樣 昨年十二月上廻りた高値 賣物多く爲に伸び惱み

迅速 確實

廣澤正次郎

演藝案內

京城壽町 壽館 電話一〇五〇 三月十日午後六時ヨリ 主催 旭會 筑前琵琶春季大演奏會

黃金館 早川直営 電話二六三七

浪花館 明治町 電話二六〇

大正館 櫻井町 電話八七三

連日連夜 滿員御禮 大正館

◎確實安全利殖的 成金讀本出版

失權 收消 公告 朝鮮煙草株式會社

株式 桐生屋株式店 東京市日本橋區坂本町一八番地 公債株式現物問屋

產科婦人科專門 中央婦人病院 京城明治町二丁目 院長 電話二三四〇番

小兒科專門 中谷醫院 京城大和町三丁目ばんざい門下 電話一〇三三番

大阪 商工業者の羅針盤 仕入案內 仕入高人の好伴侶 第十三年三月號出づ

例に依て第一位 大阪堂島米穀取引所仲買人 一會我一郎商店

ミツワの藥各種取揃へ居り候 ミツワ齒痛液 熊平支店 電話六二四番

明君道中記

第八十席　田邊南龍口演

小澤平太夫は病氣にても押して面會をいたしくれと荒川玄蕃の申し分であると聞きましたから據なく奥へ通して對面をいたし　平『折角の御入來でござるが折惡しく手前の病氣、何分にもお立合は成り兼ます故お斷りを願ひたい』　玄『お見受け申す處異の御病氣の樣子、强て立合を望む譯にも參らぬ是なるは手前門人横山惠平と申す者、貴殿の門人をお出し下すつて弟子同士の立合を願ひたい、左すれば互ひの腕前も相判ることでござるから』强ての勸め故平太夫も承知をいたして　平『然らば此の門人は柏木喜十郎と申す者此者を出して立合せませう』茲で弟子の兩人支度をいたし道場へ立出互ひに木劍を取つて其處へ進む、荒川玄蕃は　玄『コレ惠平充分に立合つて技倆を見せろ、其方の技倆によつて俺の技倆が判るのであるから』　惠『承知いたしました』平太夫は道場の入口に蒲團を敷き其に座り　平『コリヤ喜十郎日頃教へて置いたる技倆を以て充分に立合ふやう』　喜『畏りました、イザ横山氏お相手を』と双方ピタリと木劍を附けましたが零時の間氣合をかけて睨み合つて居りましたが却々双方とも打込めない、如何なる隙があつたか小澤平大夫此を見て　平『ソレ喜十郎そこだ左へ打込め』と、聲をかけましたから　喜『心得ました』と左の肩を臨んで打込んだ、惠平後へ退つて受止めたが喜十郎が飴しく打ち込む爲にとう〳〵左の肩を打れて　惠『參つた』と引退る、それを見て居た荒川玄蕃大いに怒り　玄『コレ惠平何といふ未熟なことである、然し小澤氏、其許は病氣故立合は出來ぬと申して置きながら何故助言をなされた』　平『恐入つたが門弟の喜十郎が心附きません故致道はしましたので』　玄『それは近頃不謹でござらう、弟子の恥は師が雪ぐものである故拙者が代つて其の許の相手をいたさう』　平『手前は病氣で』　玄『イヤ病氣とは云はさん、助言をいたす位であらば試合の出來ぬことはない、さア出なさい』と平太夫の手を取つて引立るから　平『然らば病氣を押してお相手いたさう』と道場へ出る、荒川玄蕃は[illegible]蛤刃の木劍を携へてさア來イと大上段に振冠つて待構へた、平太夫は別に支度もいたさず短い木劍を持つて其處に進み正眼に附けて身構へるエイヤツと双方氣合をかけ一番の隙を窺つて居る内に荒川玄蕃は大喝一聲上段より打下した木劍は岩石も碎くかと思ふばかり、平太夫とラリ身を轉じましたから空を打つて前へ蹈う處をピシリ小手を强かに打つた故木劍を打落され無念と云つて組付いて來るを平太夫早くも身を引いて横に突きましたから何かは堪らん玄蕃は道場の只中へ横ざまに仆れた、起上らんと爲する首筋へ木劍を擬けてピタリと押へた時に何うしても起ることが出來ないから玄蕃は　玄『参つた』　平『病中ながら拙者の技倆は御覽の通りでござる、拙者の當時門人新之助が居りましたら此儀には及ばぬ、未しも新之助の居らぬが幸ひ、足下の明るい内にお歸りなさい』と門弟共に申し付け玄關前より突き出してしまひました、荒川玄蕃は切齒をいたし此の老耄めがと口惜しがつたが力及ばずして此處を立去りました、平太夫は病中無理な試合をいたしたる爲に大熱を發して大いに苦しみ種々の手當を加へて寢む二人の門弟は次の室に寢てしまひました、此方は荒川玄蕃一旦小澤の道場を立去つたものゝ此儘にいたすは殘念此の返報には彼の老耄を討果してくれんと始終樣子を窺つて居りました

淋尿器科　皮膚科
外科一般　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町三丁目金光教會隣
安部醫院
電話西一九〇番

齒科診療
野田齒科醫院
本町一丁目三越向　電話一〇四七番
齒科醫士　野田匡治

菓子舗　千利堂
辻占揚技奈の日永のお望み（進呈）
電話　南大門店（二七一〇）　本町支店（二九三〇）

三月十日　九星
舊二月十七日　辛亥　本命九紫　南戌　赤口

▲九紫 縁組を持込む事有る日新事見合西方は吉、婚儀南▲一白 時におちぬ事有る日新事手控事は吉、[illegible]

なまづ入墨
アザはくろイボ等の因難の人はハガキにて照會あれ効力の偉大なる他に類なき良劑を懇切に詳報す
東京市本郷區元町　平澤藥院鯰藥部

男女　青春草紙
帝都で照會の人へは[illegible]（返信要錢）
▲甲紙の彩色繪[illegible]▲[illegible]
▲[illegible]は個人の名義で返事も致ます

かぜ ねつ の最良薬
カギヤピリン
面白い程よくきく（[illegible]なり）
小兒には小兒カギヤピリンあり
本舗　名古屋京町二　瀧川長太郎

りん病
急性慢性を問はず博士の最新發見の藥劑を御用ひあれば全治速なり七日分一圓十錢四日分一圓九十錢
直接本舗に御注文あれ
京城黃金町三丁目　振替京城三二七番　山田文殊堂藥房

無代進呈
東京市麻布區ダンス町四番地
三協製藥所

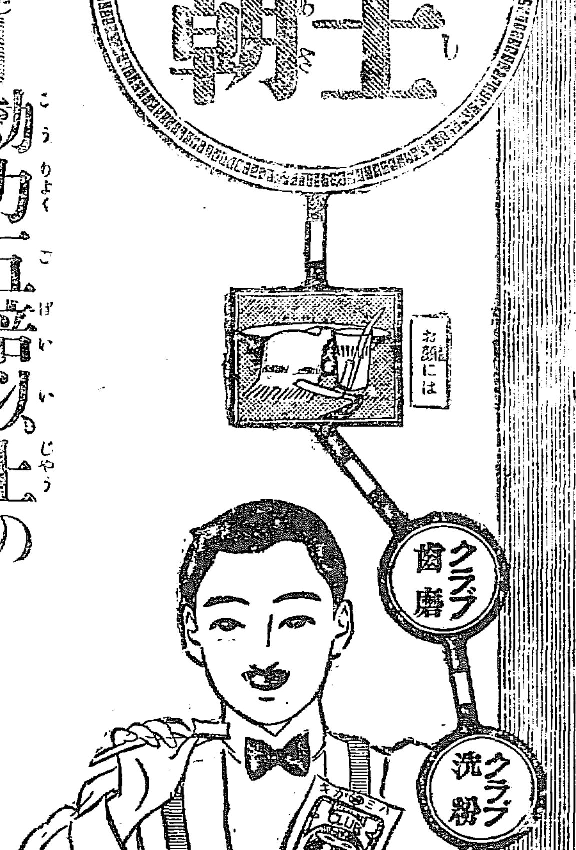
色の黒い人はない筈
色の黒いのは生來で、どうする事も出來んと云ふ人は時勢後れである、なぜなれば何處の小供も皆色の白きを見られよ然るに如何に生れたる男女でも成[illegible]

酒煙草きらいになる藥
禁酒液　禁煙液
大澤博士の秘方論進呈

●最も進歩せる認印　特價八十五錢
今回東京芝區愛宕下町（電芝九六〇）[illegible]

富の道しるべ　山縣五十雄　村上唯吉共著
定價十五錢　郵税二錢
京城太平通　振替三〇〇番　京城日報代理部

紳士の朝
（第一に）効力五倍以上のクラブ歯磨は
で歯を上下左右に磨き
（第二に）[illegible]よりも遥かに有効な日本名物クラブ洗粉でお顔をお洗ひになり
（第三に）[illegible]の後ならば一番よくきくアレ止め美身料クラブ美身ゼリー又はクラブ美身
（第四に）クリームを塗つて剃刀負けを防ぎ
（第五に）有効第一の美髪用ふけとり香水クラブキニーネ香水を頭髪に振懸けて指先で能く擦込み
（第六に）舶來品以上の美髪用煉香油クラブポマードを掌で伸ばして頭髪に付けブラシュで万遍なく梳き好評第一のクラブチックを付けて櫛をお入れになれば思ひの儘に手際よく髪が分かります
お顔には
頭髪には



比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話八四一番　九四三番
振替京城五七番

昨年來當地に於て出張治療中の處患者各位の希望に依り今後一ケ月間引續き治療に從事す
久枝肛門病專門醫院
痔核。痔瘻。脱肛。直腸脱。痔出血。裂痔　外一般
京城長谷川町安[illegible]病院内電話七三番

男の生殖器病
[illegible]
東京　[illegible]研究所

最もヨクキク
かぜねつ藥
蛇印　アンチピリン丸
にせ物あり蛇印に御注意!
十錢　十五錢　廿五錢　五十錢

梅に香晶
清き氣高さ梅にも優る
香り床しき香晶をお携帯遊ばせ
登録商標　結晶香水　香晶
特長　芳香馥郁　久く保ち　体裁高尚　携帯至便
定價　一個入金十五錢　三個入金四十五錢　各地藥店小間物店にあり
發賣元　大阪道修町　東京本町　藤澤樟腦本舗

京城日報

三月九日 (夕刊と合せて八頁)

第三版

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢郵稅一ヶ月金拾五錢 郵送に限り前金三ヶ月分 [illegible]

廣告料 五號活字一行金 [illegible]

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話 編輯 [illegible] 營業 [illegible] 振替口座 京城 [illegible]

下關町米特電

入九日後場(少雨稍氣薄寒) 寄付 一四、五五 當限 中限 一四、九五 先限 一五、二五

[illegible] 一齊賣より買向ひたるより大勢買直しを[illegible]四十二錢と崩れ返し三十九錢と押し四十錢一節を返りたるが此立會のみにて實に四萬八九千石の大取組行はれたるより取引所は直に [illegible] り賣物に押されたるより大賣物を發して [illegible] 三十錢丁度と崩れたるが硬派の[illegible] べき[illegible]より猛烈に買向ひたるを[illegible]四十二錢と跳ね返し四十錢と [illegible]

▲㋑大に賣る 今後場同店より猛烈に賣りたる玉數無慮二萬七千餘石に上りたりとの事一面三千餘石の買ありたるも注目を惹いたり

▲金大に賣る [illegible] 一萬千餘石の賣ありたるも [illegible]

▲今大に賣る 後場同店より賣り [illegible] 無慮一萬 [illegible]

▲臨時增證 今後場取引所は左の如く掲示したり 一定期米一石に付金十五錢に依りたる臨時增證據金を徵收す

入日の五月限 十三圓三十六錢 十三圓四十三錢

京城日報 自給自足

十九世紀從來の經濟界は、自由競爭論世界的經濟說の全盛時代なり、特に英吉利は世界第一の植民國たると同時に、自由貿易世界主義の本家本元たるの故を以て、植民經營上にも自由競爭論世界的經濟說を被及し、世間若し自給自足を說くものあれば則ち相率ゐて其迂愚と固陋とを笑ふの情あり、然れども彼も一時なり、今や天下相率ゐて經濟政策の根本は自給自足にありと爲し、英吉利人之を云ふこと最も痛切を極む、而して此經濟政策上の大轉機を成すものは實に此度の大戰役なり。

吾人の植民政策を說くや、常に自給自足主義を取り、我朝鮮自ら其天賦と人工とを盡くして、其の利用厚生の資を給足するのみならず、我帝國本土と相依りて共經濟圈を成し、一國の內に於て相給足するの道を全くするは、則ち帝國の實力を充實する所以なりと爲す、而して此度の戰役に逢ふて、益々此見解の當れるを知れり。

今日獨逸の潜水艇襲擊計畫益々急なり、英國と諸威との間既に航路阻止せるのみならず、米國と歐羅巴との間亦航行自由ならずして、旅客は到る處に逗留し、貨客は各地に堆積して相通ずる能はず、斯る狀態が何日まで繼續すべきか、今之を測るべからずと雖も、此の如き事の有り得べきを認むる以上は、何人も國家有事の日は國民自給自足の計に求むるの外なきことを語るべく、有事の日の爲めに其計を立つるものは、之を其平生に求めざるべからずして、今日英太利人其他のものが今更の如くに自給自足主義を說くは既に遲しと謂ふべし、乃ち遲しと雖も猶ほ之を悟らざるに優る、今後の經濟界就中植民經營は、自給自足主義を以て一統せらるべきや言を待たざるなり。

夫れ既に自給自足を旨とす、大體其土地に生產し得るものは、悉く之を生產せしむるを要す、其地方に於て製作し得るものは、之を製作せしむるを要す、此目的を達する爲めには保護固より可なり、干涉亦已むべきにあらず、假令其の營造の勞費を要すること多きも亦已を得ざる所なり、此方針を以て適進して此に初めて其の功を成すべきなり、世には、マンチエスター一派の經濟論を口にして、有無相通ずるは天下の公道なり、自由競爭自然淘汰は進化の常數なり、經濟上の事は此常數と公道とに一任せざるべからざるを云ふ、其言一應甚だ理あるに似たりと雖も、英國の商業の發達の原因此に存すると同時に、其農業の衰退其製造工業の發達の偏倚なる原因亦實に此にあり、英吉利本土は天然の良農地なり、其天賦は四五千萬の人口を養ふに於て餘裕あり、然るに商工の利の爲に農業を委棄せる爲めに、今日にては其國民の食物の四分の一だも供給するに足らず、或ものは甚だ餘りありて或ものは甚だ足らざるの實あり、斯る不均衡は獨り之を其本土に於て見るのみならず、其植民地に於ても亦之を見る、是れ今日英國の學者及び政治家が、大聲疾呼して自給自足主義を唱ふるに至れる所以なり、大局に志あるものの深く此に鑑みざるべからず。

米獨斷交と北滿 商業上及ぼす影響

米獨國交斷絕の北滿商業に及ぼせる影響左の如し

▲金融● 歐洲戰爭開始以來北滿各商家の金融上に受くる所の損失は頗る莫大なり、蓋し北滿は本露國の勢力圈に屬し凡そ東淸鐵道沿線の各商埠は留を以て本位とするより留價の高低は直に其商況に影響するは當然の事に屬す從前留の價値は每元八錢三四分なりければ北滿より支那本部に留百二十餘元を爲替にて送金する時は百三十元程の相場を有し銀一百兩に相當せしが故に支那本部にて百兩の貨物を購買し之を北滿に到りて販賣せんか留百五十元程の賣上金を得べく從つて利益多かりしが歐洲動亂を醸き露國が軍費に窮し紙幣を發行し而かも濫發に次ぐに濫發を以てし既に毫も準備金無くして發行せるもの數十億に上りしより留紙幣の信用は地を拂ひ價値も亦急轉直下して二錢四五分となり爲めに北滿より三百三十元を支那內地に爲替手形にて送金するとも僅に一百兩の相場をしか有せざる結果商家の受くる損害は少々にあらず終年其營業に苦心するも收支償はざる折柄米獨斷交の消息突然飛來し北滿各地の金融界は又復恐慌を惹起し哈爾賓の如き二月十二日には留一元は吉錢八吊八百文となりしに十三日には九吊六百文となり十四日には七吊二百文となる等留の高低は殆ど定無く此間に於て損失を受けしもの幾何なるやを知らず

▲穀類● 北滿の輸出品は穀類を以て大宗となす歐戰開始以降露國の民食は半ば北滿より供給せらるゝの觀ありて東淸鐵道沿線緊要の商埠には均しく人を派して穀類の買占を行ひつゝありしが去冬獨米講和提議の急電來りし爲め各埠の軍糧採辦所は何れも買占を停止し各所の穀價も亦漸く平穩となりし處俄かに米獨斷交の迅電來り露國側は更に買占を開始せしかば各種の穀類は皆暴騰し中にも小麥大豆麥粉の市價最も昂騰したる爲め生活費日に高まり北滿の細民は其生に安んせざる狀態にあり

▲舶來品● 舶來品中北滿に於て販路も廣きものは露國の更紗にして之に次ぐは英國の綸油、自轉車、美術品及び佛國の機器、鐵器、紙等の舶來品なりしが歐洲開戰以來此等の舶來品の輸入は全然杜絕し現在供給を受けつゝあるものは僅に米國貨物にして其日用品として大販路を有する者はスタンダード石油、洋蠟等なりしに米獨斷交と共に米貨の價は奔騰しスタンダード石油、洋燭油、更紗(花旗布)等皆六割以上昂騰せしを始め一切の米貨は一として暴騰せざる者無し以上は直接の影響なるも間接の影響に至りては更に甚だしきものあるべし(奉天)

斷交と鐵道保護

支獨國交愈々正式に斷絕するに至らば在支獨逸人が如何なる陰謀を企つるやも圖られざれば大に鐵道の安全を保護するの要ありとし支那政府は京奉線の保護を第三師及び第二十師の共同責任となし京漢線は之を第十一師第二師の保護に任じ津浦線は第五師安武軍、定武軍、精衞軍の共同保護に委ね京綏線は武衞軍、京兆警備隊の共同保護線となし滬寧線は第四師、第十師、淞滬護軍の連帶保護の下に置くべしと(奉天)

奉天無双の金鑛

奉天省通化縣柳木灌金鑛は李某な

茶の話(四) 渡邊彰(寄)

此等の文籍に考徵すれば新羅時代に於ては單に茶を植付けて其の蕃殖を圖りたるに止まらず或は佛に供養し或は國王に供獻したることが明白なり凡そ上の好む處下之に倣ふを常とするが故に當時官民ともに喫茶を嗜好品の一とせし風習を推して想見するに難からざるなり

▲今著想の點を轉じて內地の古史を見るに弘仁六年乙未の歲に在りて國に令して茶を植ゑしむとあるもの是れ國史に茶の事を載せたる始めなれども此の時植付けたる茶種は僧空海が入唐歸朝の際持歸りて之を朝廷に上りたるものなりとのことを記錄に存するのみにて其の實物は今日に傳はらず

▲而して現今內地の各所に繁茂して重要物產の一に算せらるゝ茶の原種は京都建仁寺博多聖福寺鎌倉壽福寺等の開祖として尊敬せらるゝ榮西禪師が文治三年丁未の歲入宋して、觀行を閱熟し建久二年辛亥の歲歸朝の際支那より持歸りたるものを同六年乙卯の歲に至り筑前の國背振山に植付けたるに起因し爾來七百二十二年間に於て宇治信樂を始め各地方適當の地に蕃殖せるものなり

▲今大正二年の統計に依りて內地に於ける茶業の槪況を叙すれば茶畑の反別四萬八千九百八十五町步茶業に從事する者の戶數百八萬八千二百七十二戶製茶の斤量八百六十六萬八千八百四十三貫目此の價格千四百一萬三百七十九圓の巨額に上る實に盛大なりと謂ふべし

▲夫れ內地に於ける茶業は始め榮西禪師が筑前の背振山に植付けられたるを起業の初年となし爾來七百二十年間の產業史を有するに過ぎずと雖も朝鮮の植茶に關する歷史は新羅興德王三年に在りて全羅慶尙兩道數郡に亘る南鮮の名山(新羅朝時代に於ては五嶽の一に列し)たる智異山に播種してより千八十九年間一盛一衰の事實を表示して今日尙ほ茶樹の現存するを見る次第なり

▲然らば如何なる地に古來茶の植栽が行はれたるやを調ぶるに今を距る四百三十九年前の編纂に係る東國輿地勝覽中より朝鮮に於ける茶の產地として錄載せる郡縣の名稱を拔萃して列擧すれば現今の全羅南道、同北道、[illegible]光陽、順天、[illegible]、寶城、綾城、[illegible]、長興、康津、海南、[illegible]、羅州、[illegible]、靈光、[illegible]、古阜、興德、[illegible]、光州、珍原、[illegible]以上二十五の郡縣は何れも茶の產地として錄載し又慶尙道に屬する晉州、昆陽、河東、山陰、[illegible]、固城、丹城、[illegible]以上十郡縣は是又何れも茶の產地として錄載せり

▲此の外に茶に緣りある場所を求むれば智異山は朝鮮に於ける茶の植付の起元地にして又全羅道[illegible]に茶山と稱する山あり俗に[illegible]山あり其の山勢地味等粗ぼ都順山に同じく一に都順山と稱するが如き何れも古來茶の植付に緣りある山なり(完)

支那關稅改正問題(上)

前支那總稅務司代理 ブレドン氏の意見

○千九百二年淸國は協定關稅々率を改正し列國との通商狀態を改善せんとしたる時先づ英國の委員と交涉せしが其際淸國側の委員たる盛宣懷氏の述べたる處は實に稅率問題に對する支那の政策を最も簡明に說示せるものなりき、盛氏曰く淸國は外國貿易に從ふべき凡ゆる便宜を提供するに吝ならざるも其の負擔する外國債務に對する政府の經費を得んが爲め列強は淸國の要求を容るべきなりと、盛氏は淸國に輸入せらるゝ外國貨物に對して課すべき稅金に二個の種類あるを認めたり、其一は外國人の負擔する通過稅にして他の一は通過稅及び內地稅にして後者は當然內地に於ける地方徵稅機關が通過稅として課するものなり

○淸國は[illegible]

[illegible]を基礎として稅率の改正を企て從價稅五分を本稅とし更に之に其十五割附加稅を[illegible]し其本稅を二倍半と[illegible]

(以下續く)

日報詩壇

○春曉 古城 梅溪

[illegible]

評曰 [illegible]

○次東農金貴陽見寄 成田 魯石

[illegible]

評曰 老筆圓熟

○春初偶成 園山 牧雲

[illegible]

評曰 寂寥之中見動吟興

○寄松山詞宗 小永井槐陰

[illegible]

評曰 實際之語、中見恬淡之情

[illegible]

評曰 布置穩順

大正六年 教育年鑑

文學博士 澤柳政太郎先生監輯 帝國教育會藏版 四六判五百七十頁

破格の廉價!

我國に於ける教育年鑑最初の試にして、教育に關する最新事實最新統計は勿論、一般國民に必須なる新事項は盡く網羅せざるなし。而も雜然と統計を集め數字を並べたる無味乾燥のものに非ず、文章流暢、秩序整然、所謂趣味と實益とを兼ねたる國民教科書なり。一卷を備ふれば、本邦教育の現狀及國勢の大要歷然として目睹するが如し。教壇上の最良師友たり、學事上の絕好指針たり教育家の座右に一本無かるべからず小中師範大學乃至各府縣郡市町村學務當事者必備の寶典也

是れ教育上本書の絕對的必要と無限の需要あるを確信しての斷行也

定價四拾八錢 (郵稅內地金八錢 鮮滿支那金十二錢)

東京神田 富山房 振替一〇五

三月號發賣

經濟時論

▲議會の解散と豫算の善後策 法學博士 工藤重義

▲今後の社會問題 安部早大教授 ▲農業倉庫の改善 矢作法學博士 ▲南洋に於ける支那人 松岡講師 ▲海運界の二大潮流 寺島成信

◉英國の戰時財政…田尻法學博士

◉日本の前途果して平安なりや 神戶法學博士

▲獨逸の電力問題 阿部教授 ▲戰後の銀問題 米田講師 ▲見下げ果てた生活 良子木教授 ▲井上準之助君 古山鹽堂

日本の工業動員 同盟罷業した人々 時評(十二項) 題言(生活の保障)…… 歐洲戰局の將來 株式界の進步と退步 株式界の推移 日本紙器製造會社

▲戰時戰後外交 文學博士 遠部 遁吾

每月一日發行 一冊二十五錢 郵料一錢 東京京田 株式會社 同文館 振替東京一五三

大阪屋號書店 京城本町一丁目 電話八四・二六六番 振替京城二五七三番

巡査 [illegible]

◉受驗必携朝鮮六法要論 安達大壽計 四〇 ◉金沙集 茅野雅子 八〇 ◉開戰襲擊法 [illegible] 六〇 ◉トルストイ入道主義の眞髓 [illegible] 七五 ◉近代戰爭 [illegible] 四五 ◉同 戶田新八郎 [illegible] 三〇 ◉當世百道樂 [illegible] 三〇 ◉佛蘭西文學 [illegible] 一、九〇 ◉我の生活 [illegible] 九〇 ◉駒子 石川 [illegible] 一、三〇 ◉大正六年最近朝鮮事情要覽 [illegible] 六五 ◉主要商品英語 [illegible] 一、〇〇 ◉國語の組織 大島正健 一、〇〇 ◉法令實例小學校行事の研究 [illegible] 九〇 ◉人を中心として見たる常業、文藝及 [illegible] 一、〇〇 ◉國民教育工業講話 [illegible] 三、〇〇 ◉[illegible]語法 [illegible] 四五 ◉詳解漢和大字典 [illegible] ◉[illegible] 九五

最新刊 朝鮮總督府見習試驗 委員長法學博士 秋山雅之介

公告

一、防疫夜注入未村四百五拾本右購買ス[illegible]ハ參月九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

來ル四月十五日本府及各道(京畿道ヲ除ク)ニ於テ見習試驗ヲ施行ス志願者ハ三月五日乃至七日朝鮮總督府官報廣告ヲ見ヲ採用志願者心得ヲ參看シ三月三十一日迄ニ試驗ヲ受ケムトスル官廳ニ出願スヘシ

大正六年三月 朝鮮總督府

朝鮮諸官廳受驗叢書

▲京城專修學校教官 安達大壽計著 朝鮮六法要論 全一冊

二月十五日發行 ▲受驗必携 朝鮮行政法規大意 全一冊

▲朝鮮諸官廳受驗者必携 會話譯文速成 訂正再版 全二冊

▲朝鮮諸官廳受驗者必携 作文軌範 全一冊

▲高等普通學校教官 阪上綱吉著 朝鮮諸官廳受驗者必讀 法律問答 全一冊

以上一部定價金各四拾錢 送料各一冊金四錢

本受驗叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳受驗者の爲に著述したるものにして、在來提出せられたる各種試驗問題は勿論今後に於ける試驗問題として適切なる事項は全部之を網羅し、而も當局者の方針に則り極めて明確なる模範的の解答を施したるものなれば、以て受驗準備書として最も適合せること到底他に其類を求むべからず、以て何れも發行以來嘖々たる好評を博し、凡を受驗者として此等の書を手にせざるもの無きの狀況を呈せり、故に朝鮮總督府及所屬各官署に於て施行せらるゝ判任文官、判任見習、雇員、警部、巡查、看守其の他各種の資格並に採用試驗に應せんとする江湖の諸彥は、宜しく本叢書を座右に備へ、以て各受驗科目學修上の迅速と正確とを期し登龍門を開扉するの資格を一日も早く有し給はんことを祈る。

發賣所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

朝鮮唯一の諸筆主任 各種萬年筆製作 即時修繕 本國最上十四金ペン卸小賣 一東京 パイ出張 [illegible] 萬年筆所

慶應大學學生募集

理財科 法律科 政治科 文學科 豫科一年

醫學科(新設) 豫科一年

◉豫科二ヶ年本科三ヶ年 ◉願書(必要書類寫眞試驗料)ハ三月廿日ヨリ四月四日迄ニ差出スト同時ニ志望科二ツ以上届出ヅベシ ◉試驗英文和譯、和文英譯、日本作文、四月五日施行

◉募集人員壹百名 ◉豫科二ヶ年本科四ヶ年 ◉願書(必要書類寫眞試驗料)三月十日ヨリ同廿二日迄受理ス ◉試驗國語漢文、英語、代數幾何、物理、化學、動植物、體格、三月廿六日ヨリ施行

▲規則書入用ノ向ハ郵券二錢東京芝慶應義塾へ宛送ラルベシ▲

○奉天商務總會の加入反對

奉天商務總會は斷然協商國側加入の不可なることを政府に電告せり（奉天特電）

○佛軍逆襲戰線を奪取す

五日發表の佛國公報に依れば、我軍はミューズ河右岸にて猛烈なる逆襲を企てクーリニール森林北方戰線の一部を占領せる敵兵を驅逐せり又フリレイ北方に於ける敵の襲擊は全然失敗に終れり（倫敦電報）

○葡萄牙前大統領逝く

里斯本來電に依れば葡萄牙共和國最初の大統領マノエル、アリアガ博士は五日里斯本に於て逝去せり（上海特電）
▲前大統領アリアガ博士は千九百十一年八月二十四日大統領に選ばれ千九百十五年迄在任せる人なり

○趙氏歸京用向

趙爾巽氏は七日急遽歸京せるが右は黎總統より北京政務に就き召還の急電ありたるが爲めなり（奉天特電）

○張督軍の電告

張督軍は七日段總理に對し刻下支那の形勢上辭任の不可なる旨を電告せり（奉天特電）

○汪氏北京發期

赴日特使汪大燮氏は十一日朝北京出發の旨公電ありたり（奉天特電）

●農産獎勵上の謬見

國土の利用と農家經濟の調和

總督府技師 中村彥氏談

在鮮起業計畫者の一部には所謂「自作自給」の說に囚はれ極めて偏狹的なる見解を持し其結果母子國間に於て産業上の利害衝突を惹起し全帝國的の産業政策上並に經濟政策上に甚だ不利なる結果を招かんとするの傾向なきにあらず一般識者の憂慮しつゝある所なるが之に關し中村技師は農業上の見地より語りて曰く

農業の改良及び奬勵に關し世間今猶ほ根本的の謬見を抱懷するもの往々あり朝鮮農業の順當なる發達を促進するに方り喜ばしからざる影響を與へんとするは甚だ遺憾と爲す

▲今農業上より 自作自給說の意を解するに朝鮮を以て農業上に於ける一個の獨立的地域と見做し此範圍內に躅踏して自作自給を策せんとするが如き狹小なる見解を排し本土も朝鮮も臺灣も乃至樺太も悉く合せて打て一丸と爲し日本帝國の立場より自作自給の道を講ずるを以て最も自然的にして且つ科學的なりと信ずるものなり國家的農業政策は即ち此見地より確立するを要すべくかくて始めて母子國間に於ける有無相通の利益を收め得べきなり乃ち朝鮮には朝鮮に於て最も天惠を受くる事多大なる農産物の奬勵に全力を傾注することに依りて勞少く効多きを擧げ得べく又內地に於て既に

▲生産額の多大 なるものに對しては假令同一物を以て朝鮮が相當の利益を收め得るとするも此場合一考を要すべきは朝鮮に於て更に一層天惠を受くること多大なるものありや否やの一事なり若し之ありとせば——若くは天惠を受くること同等なりとするも——內地に於て生産し難きものにして且つ內地に於て必要とするものを朝鮮に於ては生産せしむる事に吾人は意を用ゐざる可らず是れ即ち日本帝國を打つて一丸と爲したる見地よりせる自作自給の道なり較著なる一例を擧んか朝鮮に於ける陸地棉の如き即ち是なり內地に於ける棉花の需要は年額二億圓以上に達するに拘はらず殆んど全部之を海外に仰ぐの狀態に在り宜しく天惠を受くること多大なる朝鮮の地に陸地棉の栽培を奬勵し幾分の額の幾分にても減ずることを企畫すべきなり然るに誤りたる且つ

▲狹少なる見解 に基く自作自給の趣意に依りて內地の風土に最も適し且つ多年耕作の經驗を有して産額莫大に上り盛に輸移出しつゝあるが如き特殊の農産物を不用意に朝鮮に移し來りて奬勵せんとするが如き計畫を爲すものあらんか耕作上の技術及び天惠を最も有利に利用することに於て內地の生産に企及し得ざるのみならず更に商品として市場に提供したる場合に於て有力なる內地品の競爭に會ひ忽ちに壓倒せられ一敗地に塗るゝの悲境に陷るべきは火を覩るよりも明なり殊に朝鮮の如く現に農事改良の過渡期に在る場合に於て農民が一度失敗の經驗を嘗めんか總ての新改良事業に對して疑惧の念を生じ若しく改良の普及を妨ぐるに到ることあるべし元來農業の改良及び奬勵は國家の統一せる農業政策に準據して進歩發達の道を講ずべきものたるは論を俟たず之を國家的の見地よりすれば

▲國土の利用 をして東西南北各々其適するものを配して遺憾なからしめ又之を農家の立場よりしては能く農家經濟との調節を計りて緩急其宜しきに合はしめ此兩者並び行はれて始めて其効を完うすることを得べく若し其一にして當を失するに於ては速に之を改め更に適當なる方法を講ぜざる可らざるなり朝鮮に於ては勸業模範場及び各道種苗場に於て實際的研究に從事し指導誘掖に努めつゝあるを以て苟も農業の改良及び發達に志あるものは是等の機關に就きて指導を受くるを以て最も安全の策といはざる可らず又農業の改良は徐く急速に行はるべきものにあらず一歩は一歩より堅く漸を追ひて其効を收むべきものなり明治初年に於ては急激突飛なる農事改良論行はれ幾多の失敗を重ね來りたる經驗に鑑みるも朝鮮に於ける當農者が誤れる一世に惑はず常に自家の利益と國益との一致を念頭に置き健全なる發達を遂げんことを希望して止まざる次第なり

◉奉天附近の匪徒

奉天省政局の混亂せるに乘じ目下奉天縣界の中心台、興隆台、新民縣の月牙河、公主屯、法庫縣の馬徹方面に匪徒大に起り二十七、八兩師より各一營を派して討伐中なり（奉天）

◉間島牛疫猖獗

間島地方に於ける牛疫は殆ど不斷に發生して昨年の如きは間島にて四百八十頭罹斃百七十頭の多きに達したるが本年に入りても猶終熄の模様なきのみならず益々猖獗を極め既に間島地方延吉、汪淸、和龍各縣に五十頭の斃牛を出し二月以降のみにても二十餘頭を算せる旨其筋に報告あり

◉銀行預金總額

●總計四千三百七十一萬●餘圓を算す前年末に比し八百八萬餘圓の增加

大正五年十二月末日現計に依る鮮內各銀行の各種預金額は總計四千三百七十一萬六千五百四十三圓にして之れを前年同期の預金總額に比較すれば八百八萬九千七百五十四圓の增加を示せり今之れを道別とし增減の趨勢を見るに左の如し

▲京畿道 預金額の最も多きは本道にして二千七百七十六萬千九十圓を算し前年同期に比すれば五百二十九萬八千百九十二圓の激增なり

▲慶尙南道 京畿に次ぐは本道にして四百五十三萬六千四十五圓と注せられ前年同期に比し八十五萬四千四百四十一圓を增せり

▲平安南道 鮮內第三位に在りて二百六十七萬七千三百三十圓を示し前年同期に比し六十二萬五千九百二十圓の增進を見たり

▲慶尙北道 百九十一萬四千五十九圓にして平南に次ぎ前年同期に比し三十二萬八千八百八十八圓を增せり

▲全羅南道 百七十四萬八千五百三十二圓にして前年同期に比し二十五萬五十八圓の增加を示せり

▲成鏡南道 百二十三萬三千三百十圓にして四年末に比し十四萬五千四百七十六圓の增加なり

▲全羅北道 各道の內中位に在りて百十九萬七千九百八圓を示し前年同期に比すれば二十萬六千六百九十圓の增加なりとす

▲忠淸南道 全北に亞ぐも百萬圓を下り七十一萬七百二十七圓となりしが之れを前年同期に比すれば尙ほ十四萬二千四十圓を增加せり

▲成鏡北道 六十八萬六千二百二十九圓にして前年同期に比すれば廿二萬三千七百三十七圓の增加を見たり

▲平安北道 四十五萬二千九百十九圓にして前年末日に比すれば一萬七千二百九十三圓の增加なり

▲黃海道 三十七萬二百九十六圓に過ぎざるも前年同期に比較すれば三萬四百二十六圓を增し增加率に於ては平北を凌げり

▲忠淸北道 預金合計廿六萬千六十九圓にして前年同期に比すれば四萬千五百八十七圓の減少を示し其の率に於て預金額最も少なき江原道の上に在り

▲江原道 各道中預金額最も少く十六萬七千二十九圓に過ぎず而かも之れを前年同期と比較すれば八千百八十圓の減退なりとす

◉仁川の經濟界

朝鮮銀行仁川支店調查

▲金融狀況 內地米價は月初めの買收商發表以來低打の商狀を持續せるが當地は露國軍用米を見越し保合の裡にも稍々底固き振合なりしを以て移出相場は終始不引合を呈し捗々しき商談なく一方搬出は解氷と共に稍增加せるも地方賣惜しみの爲めにして買出亦一般に手控へせられ方面に對する資金の需要例年の如く盛んならず輸移入側は舊正明けの一段落にて閑散なれども月末に及びては漸次雜貨の荷動活潑にして賣掛手形の取立れ多く日米資金は共に金融稍繁忙を呈せしも金融の大勢は依然緩漫裡を脫せず一般商況は斯くの如く閑散なりしと雖も唯定期米資金及び露國軍需米資金の需要は大に移動ありて銀行券は五千圓の發行超過を呈し當地四銀行月末帳尻も前月に比し預金に於ては二萬一千圓貸出に於ては七萬八千圓を殖し共に增加せるが此等特殊資金關係に依る者にして一般市況は概して閑散新規資金の需要薄く金融は平調を持續しつゝ有り

▲貨物集散 米は解氷と共に搬入稍々增加せるも內地依然安値の焦付相場にて更に當面の轉廻を見ず爲に當地の市場人氣は常に氣迷姿にて商內薄を告げたり併し相場は賣物薄にて保合の裡にも何となく底固く全月を通じて糯玄上玄ずつ二圓二三十錢所の小巾上下を繰返せり大豆も相場らず品拂れにて相場は龍山大王八圓四五十錢所にて依然手堅き商狀を示す月末在庫は玄米十七萬九千叺大豆四萬三千叺其他精米一萬二千叺合計二十六萬一千個にして前月末に比しては一萬三千個を增加せり是は玄米增に基因せり輸移入品は舊正明けの一段落にて荷動き閑散なりしも月末は綿布、糖粉其他雜貨の賣行漸々好調に轉じ市況稍振へるも大勢は概して閑散なり

▲龜島支店長談 仁川に於ける輸移入品市場は夏物仕入時期に入り漸く增加し居れるが輸移出市場は內地市場に於ける米穀類の氣勢軟弱なるが爲めに相場引合はず手合せ殆んど無き有様にて精米は二三十錢引戾せば移出行はれんも玄米は稍開き大なる爲め當分內地移出は見込なかる可し然し乍ら露國行軍需米及び浦鹽、哈爾賓、滿洲方面への輸出行はれつゝ有るを以て仁川市場は保合の裡にも人氣强硬なるが更らに某方面にて大に軍用米輸出の商談進捗中なりとの報あるや正米及び期米市場は頓に緊張し眼先は樂觀の狀態なるが萬一該商談成立の上は仁川に於ける在荷の大半は有利に消化さるゝに至る可し（仁川）

◉寺刹祠院及僧尼調查

京畿道管內大正五年十二月末現在に於ける朝鮮人設立寺刹祠院及び僧尼數に關する調查に依れば寺刹數二百僧一千百七十八名尼四百四十三名祠院十二同上管理者十二名なりと

◉慶北改良種普及

慶北輸移出穀物改良組合檢查にかかる玄米は大正五年四月一日より大正六年二月に至る數量四十九萬三千四百三十叺是を大正四年度同期に比するに七千百四十六叺の增加を見其內改良種は三十六萬八百二十三叺にして百分率七三一パーセントとなり之を大正四年度改良種四六九パーセントに比し二六二パーセントの進步改良狀態を示せりと（平壤）

◉內地機業視察

府內織物業者は大正二年中に始めて組合を組織し技術員を聘用して斯業の改善發展に努めつゝあるが漸次進境に向ひつゝあり同組合にては倍々斯業の向上發展を促さむとし組合員中の熱心家を選び內地機業を視察せしむることに決し左記六名は大阪、名古屋、濱松等に於ける實況を見學すべく組合技術員同行來る十日出發する筈なり
▲京城府內貫鐵洞張在鎭▲同昌德洞浪大錫▲同堅志洞金聖昌▲同黃金町五丁目朴調湛▲同貫勳洞李振賢▲同鍾路一丁目金慶鎭

◉徵兵受檢者注意

四月一日より同月十日までの間に於て龍山步兵第七十八聯隊に於て施行せらるべき本年徵兵身體檢查呼出狀は既に京城府廳に到著し各本人に交付しつゝあり故に若し受檢出願者にして該令狀の交付を受けざる者又は受檢出願當時の住所を變轉したる者は速に府廳に申出で令狀を受領せらるべし尙ほ京城府在住者にして本年受檢者は五百五十名なりと云ふ

◉宮村警視へ記念品

警務總監部警察課在勤宮村駒三郎氏は今回警視に昇進し鎭南浦警察署長を命ぜられ來る十一日出發赴任の筈なるが總監部其他警察關係者有志は同氏に對し送別の意を表する爲め記念品贈呈の計畫中なりと

人事消息

▲田中遊氏（李王職事務官） 八日大和町二丁目官舍に移る
▲土岐篤三郎氏（成興炭坑社員） 八日夜入京浦尼へ
▲赤松四郎氏（新川守備隊長） 同上
▲船橋喜一氏（大阪鐵工所長） 同上天眞樓へ
▲神林啓太郎氏（成興炭坑社長） 九日朝入京浦尼に投宿の筈
▲三原新三氏（木浦模範場技師） 同上
▲小林權之助氏（明治炭坑技師） 九日朝退京の筈
▲大幸喜三九氏（實業家） 八日朝退京
▲西川當三郎氏（元山每日社長） 同上
▲小瀧元司氏（久原精錬所長） 同上
▲木原小平氏（朝鮮物資支店長） 八日夜退京
▲林貞一氏（中川商店員） 同上

○嗟呼、澤田中尉

放膽豪快の飛行振り

我國飛行界の功勞者、小事に拘泥せぬ人、突如歸朝に就ての風說種々

某飛行將校の談に依れば澤田中尉が所澤へ入隊したるは大正元年にして中尉は當時の教官たる日野中佐德川大尉等の教導を受け熱心練磨の結果次第に妙技を發揮し一方飛行機の製作に就ても研究を怠らず選ばれて歐洲視察を命ぜられ長澤中尉と共に英佛獨の飛行界を視察し歸朝後間もなくモーリス、ファルマン式飛行機に改良を加へ更にモ式飛行機を改良して陸軍制式を製作し其成績頗る良好なりき昨年六月再び武田中尉と共に歐洲交戰國間の飛行狀態及び飛行機發動機の研究を命ぜられ露國より英國に到り佛國に滯在中突如歸朝を命ぜられ去月二十五日歸朝したるが中尉の飛行振りは世人の知る如く放膽豪快を極め長距離飛行に於ても屢々大膽なる妙技を揮ひたり尙今回渡歐中突如歸朝を命ぜられたるに就ては種々の風評あり佛國滯在中佛國の一婦人と關係したる事日本大使館の知る所となり爲めに歸朝を命ぜられたるなりとの說もあり中尉は生來小事に拘泥せざりし爲め其の素行は餘り面白からぬ點ありしは知人の齊しく知るところなりされど今回我國飛行界有數の手腕家を失ひたるは實に惜みても餘りある事といふべし（東京特電）

◉南言北語◉

歐洲戰亂が戰まつた後の列國の形勢が何う變るかといふことに付ては全世界の大問題であるが▲急に男振りを上げた日本が兎角に各國人の目から種々に批評せられつゝあるのは善いか惡いか其れは別問題として▲加奈陀政府の前穀物檢查長フランク、イー、ギブス君が面白い意見を發表して居る▲大戰後最も困難の狀態となるのは佛蘭西で同國では彼の大革命戰爭後よりも甚しい程度の難儀が起るのであらう即ち勞働問題の爲に激烈な社會上の大葛藤が起り相な▲而して歐洲全土に於ける勞働問題に次で世界の大問題ともなるべきものは露西亞の將來であらう▲同國は日本と同盟を結び二十五年を經ずして世界を支配する事となるだらう▲之に次で世界に覇を唱ふるのは恐らく日本に違ひない▲惟ふに今回の戰亂は一旦平和となつても二年を出ずして更に他に戰爭の起る虞れがある▲大戰後は勞働問題は歐洲に於ては凡ての問題に容喙せんと試むべく之に亞いで世界の苦惱するは露西亞の大勢力である▲日本の偉大なる力量は白人の何人も能く之を眞實に評價する者がない▲日本は數百の武器彈藥の工場及び造船所を有し大平洋橫斷の船舶三十艘以上に達する盛況である▲近來外交界に起り來る種々の事件は將來日露兩國が强力有效なる同盟を形成するに至るべきを豫示すと▲日露の提攜は事實になるかも知れぬが實は餘り斯くほめに預つては聊か尻こそばゆい心地もする恐縮千萬の至りだ

□東京より

前略此頃山縣政務總監を帝國ホテルに請待或大官一人及び高官、軍人、政客、實業家等案內致し露西亞待遇ご無禮講ご相成候て大に

○東風吹て鄙や宵の無禮講　大塊
○尻に帆かけて急ぐ旅人　素空

告京城分會員
一來ル十日陸軍記念日ニ付同日午後一時ヨリ龍山練兵場ニ於テ擬戰其他ノ諸演習執行相成候間分會員ハ所定ノ場所ニ於テ觀覽相成度候
帝國在鄉軍人會京城分會

目まい 立くらみ 腹いた 急病、流行病の特効藥
登錄商標
萬病感應丸
大阪 本舖 正野法橋玄三 江州
販賣店は全國有名各藥店

▲山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ
價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替二〇〇番 京城日報社代理部

大寫眞 大餘興 本日より差換
◉第一快漢ロロー 四十卷の內二三篇四卷上場
メキシコ動亂軍の怨讐隊到著○デスカハリー町は刻々危險に迫る○カランザの米軍駐屯隊へ急を報す○軍使は何者?○可憐なるリバチー孃○動亂軍の發見○生か死か○哀れ勇敢なる小娘は彈丸命中○果して如何なる活躍をなすか愈々本篇より大痛快なり見よ痛快凜冽!
◉新派悲劇夜の鶴 三卷 燒野の雉子夜の鶴親子の眞情を遺憾なく現はせし現代大悲劇
◉舊劇淸水次郎長 三卷
◉餘興英國軒ハレー 義に依りて孝子の仇討を助太刀すると云ふ目玉松之助十八番劇
演藝全部差換へ申候本人本週限りにて當地出發見落す勿れ
特別大興行 大正館

池坊生花盛花春季大會
期日 三月十日より十一日迄二日間
會場 龍山柳町陸軍偕行社に於て
御隨意御覽被下度候
京城龍山漢江通 今井秀甫社中

質
京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所 電話六三九番

社告
京日案內廣告料金左之通改正致候
番外 五行一回 前金壹圓
普通 三行一回 前金五拾錢
■六回以上壹割引
匿名一回每に十錢增し無割引

京日案內
普通 一回前金五十錢 番外 一回前金一圓 匿名一回每に拾錢增し
▲申込後中止の節は前金返戾せず▲六回以上の御申込は特に壹割引▲御照會の節は返信附にあらざれば回答せず▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通
●融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談 京城大和町三の三二（柄澤前）通木屋 637
●日鮮人外務員募集す 希望者本人直接來談 京城明治町一丁目 精美堂印刷所
●舶來自轉車コースター堅牢新購入後僅ニ兩三度乘用せしのみ素人に讓渡し度三十八圓（姓名在社） 668
男女社員採用希望の方は履歷書持參御來談あれ 京城吉野町元中の新地跡 大日本新聞鮮滿支社 665
●制限利息信用融通 沿線有線の方へも（新龍山入口右側異通） 龍山漢江通六番地三號 伊勢屋 666
●配達人 至急入用志望者は履歷書携帶本人來談の事 黃金町三丁目安藤病院橫 京城新聞社 663
●讓店 將來有望なる菓子店舖讓り渡す 京城明治町二丁目於多福山本商店 至急 656

番外
●古本熱心高價買入 ●是非御試買を乞 ●電話二七八一番 ▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆群書堂 631
●金融 有給者信用並日掛其他擔保 證書土地家屋質札買 京城吉野町一 電話二七七二 ミナカワ 659
●恩給 年金 低利 特別 長期 即時 立替 秘密 商品陳列館表門前下角 京城永樂町一 江州屋本店 639
●恩給年金 低利長期即時立替 短期無保險 京城南大門外御成町 西鮮支店 京義線沙里院 山口屋 廣川商店 640
●新古ミシン賣買 ●針油部分品販賣 ●修繕 京城鍾路二（パゴダ公園近）電話二三六 楠商店 667

▶八木田博士御處方 ▶島田博士御鑑查
強胃消化錠
——最新式錠劑——
八木田博士御處方 島田博士御鑑查
アナタの胃病にはマーゲン
本劑の特色
二博士御處方の本マーゲンは新式胃病藥と異り其效は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を增し胃弱を治し著しく胃を爽快にす
大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房

最も信用ある東京三金の靴
ボックス製 長靴 半長 本長 金五圓五拾錢 金六圓也
ボックス革製編上 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製變型 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金參圓五拾錢 第二號 金四圓五拾錢 第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造しあれば一般紳士靴として好適なり
御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知ば東京市芝區愛宕下町小包（送料實費）にて發送す
最新目錄 無代進呈
三金高等靴店
電話芝六九〇番 振替東京一七一三番

……僅かに最近……當用……きは……
……不漁の爲め頗る悲觀されし……漁夢せ來れる……見込り稍……
あり明太魚は天候の恢復と共に漁……誰も何ほ大盛を動かすに至らざりし……

♣花の春を逝きにし勇士――昨夏京城を通過せし澤田中尉の飛行姿

▽▼悲しき思出　□空中の勇■士を悼む□

朝鮮＝滿洲に於ける澤田中尉の足跡

♣磊落で、無邪氣で、人懐つかしかつた故中尉の面影

『そりあ君いくら進歩したからつて空中を飛ぶのだから落ちる事だつてあるさ、船に沈むもの飛行機は落ちるものとちやんと極まつて居るよそれが恐ければ乘らないのが一番安全だよ』と

♣中尉は練兵場の雪の中で焚く篝に兩手を翳しながら無邪氣な高笑ひ此の日は大正五年二月氷天に於ける耐寒飛行の終りの晩であつた、氷の紛のやうな冷たい月が圓く紺碧の空に懸かつて居つた雪に埋まつた寒天練兵場の周圍には夜間飛行の目標の爲めに幾十となく篝が焚いてある澤田中尉と予は其の篝の一つを眞中にして話して居つたのだ毛裏の飛行服を着た上に毛裏の防寒長靴を穿いた中尉のムク〳〵と

□太つた影を　月と篝の光とが氷つた雪の上に映つて居つた時自分は何んだか其の人をマーキユリーかなんぞの神人のやうに考へた『君は今夜京城に居るんだつたね、なや來給へ一つ乘つて見せやう、お名殘りに』坊んな事を云ひながら中尉は格納庫の方へ歩いて行つた空氣は零下十九度だつた。格納庫の前には交通兵團長の井上中將それに飛行班長の有川大佐以下の將校がズラリと並んで居た

♣澤田今度乘るのか　と川上中尉が聲を懸けると『サン寒いから早く乘つて止めだ』皆んなの顔には『我儘な』と云ふやうな苦笑が浮んで居つた其の晩中尉は毛式卅四號に搭乘したがカソリンの爆發する鋭い火を曳きながら卅四號機は東北方の空へ消えた月の光の代りに互つて星の數は少なかつた、自分は格納庫の側を離れて

□獨で雪の中　に立つて暗黒の空の中に吸込まれて行つた中尉の事を考へた飄然で無邪氣で人懐かしい中尉の面影や言葉などを考へて居つた丸顔で血色の好くない眼の下つた而かし何んとなしに人を引付けるやうな愛嬌を持つて居た其の紺調とした中尉の面影を自分は考へて居つた

♣十分經つても二十分經つても卅四號が歸つて來ない『澤田は何うしたらう』と井上中將が氣遣はしそうに云ふと『もう歸つて來さうなものですね』と有川大佐も心配さうに椅子を離れた『此の晩の飛行は皆な五分か七分經であつた『第一こう長く飛んで居ちや凍へて終ふだらう』と伊庭中尉か誰かゞ云ふ『もう二十五分に成る』『故障でも起きたのかも知れん』と皆んなの顔の上に

□不安の雲が　懸つた、自分は何んだか疑つた事でも起つた如うに思はれて成らなかつたそうして七日間あんなに親しんで親切にして吳れた『オイモウ始めるぞ!』と旅館へ毎日電話をかけて吳れた中尉と二度と話しする事が能きぬやうな心寂しい不吉な考へばかり湧いて來るもう三十分になるのだ、其の時

♣練兵場の西の方の月　夜に黒い喇嘛塔の上に蝙蝠ばかりの黒い影が浮んで遙かにパラ〳〵とプロペラの響きが流れて來た、練兵場を周匝して居つた發手の群衆も中尉の上に氣遣つて居つたと見えて一齊に『萬歳!』と叫びに從れて絶叫した格納庫前の飛行班では云ふまでもなく愁眉を開いたやがて中尉は練兵場の上を低く一周して着陸した『何處まで行つた』と

□皆の口から　申合せた如うだ『新民屯までです』『ハア恐い事は有りませんか』『凝結も大丈夫です』『それ位の寒さならハア二千米突で零下廿二度です』『風は二千米突で風速五です月が美しく奉天城の灯が綺麗でした』皆んなの意表に出づる樣な事を云つてケロリとして居る中尉は傍で聞いて居ると小氣味が好い其晩蒲團館地の公園の側で西餐な饗やで別れた

♣それから二三箇月して　から中尉は歐洲視察を命ぜられて京城を通過したが其の時は逢ふ事が能きなかつた二月二十日中尉は歐洲の歸途一日京城に滯在して居つたので久しぶりにいろ〳〵と話を聞いた東京へ歸つて間も無く休職に成つたと聞いたので自分はすぐ見舞を飛ばして手紙を出した其の手紙が着いたか

□着かぬのに　中尉は死んだのであらう『飛行機は落ちるものに極つて居る恐かつたら乘らぬがいゝ』また『僕は君、時々無に成つた夢を見るよ』『飛行機から落ちて死んだら今度は綺麗な蝶に成るよ』などと云つた言葉が思ひ出される中尉の言行は或一部の人からは

♣如何にも豪傑ぶつた　街らつた氣障に見れたか知れないが『ほんとうに歐洲諸國の航空界が意外に發達して居るのを見ては日本のそれを比べると情けなくなる第一職工の良いのが無いからねエ』としみ〴〵と語るやうな眞面目の人であつた、中尉は死んでもやつぱり國家の爲め航空界の發達を冀望する事であらう（A記者）

僕等も一時は煽てられて隨分亂暴なことをしたが……

去年の七月の始め、その日は馬鹿に暑苦しい日だつた、歐洲出張を命ぜられて佛蘭西へゆくといふ澤田中尉と武田中尉に會ふべく

□水原の　驛まで出掛けて南大門驛に夜の九時に着く急行列車に途中から乘つて車中を探すと兩中尉は可なり込み合つてる二等車の中に陣取つて居た『ヤー』『ヤー』『御々京城からイヤどうも御苦勞、僕等は忘れて來たんだがよく知りましたね』と先づ

□年嵩の　澤田中尉が飛行將校や將い船乘によく見る快活でそして少しも分け隔てのない、呵笑を押へながら『まあ掛け給へ、朝鮮は悲觀分子が多いんだよ』武田から空中ブツ通しなんだもの弱つちやつたよ』と白ツぽい浴衣の襟から

□白扇を　取り出してパタ〳〵と風を入れた、その節切れのいゝ語は東京育ちが懷かしく私の耳に響いたのでトランクや雜誌で狹くなつた中に無理に割り込んで京城の話や武田中尉と一緒になつて色々の話をしてゐる内に永登浦まで來ると澤田中尉の

□竹馬の　友である探偵孝次郎君が京城から迎へに來てゐた、スミスの宙返り飛行の話が出ると澤田中尉は急に何か思ひ出したやうに『君達は一體人が惡いや、種々な事を言つて吾々を弱らせる者だから僕等も一時は隨分亂暴な事をしたが

□此の頃　は僕等も大分利口になつたからマア宙返りなんかは當分しないね』とさいひながら『しかし君あんな事は迫つて見れば譯はないもんだよ』と浴衣の袖を捲り上げたりなんかしてゐた、汽車が南大門驛へ來ると兩中尉と私と法兩三名に須中まで○四十分間の喫茶店に這入つて

□ビール　を飲みながら、更に語りつけた、その時には物に頓着しないらしい澤田中尉は無邪氣な調子で[illegible]旅行の話や[illegible]

□止める　のを[illegible]……澤田中尉はそれから八箇月經つた

□二月の　中頃突然歸朝を命ぜられて歸る途中、京城に立寄つたが、此の時は何かの都合で會ふ事が出來ず中尉は奉天へ發つて終つた、それから東京の新聞に傳へられた休職の際の[illegible]今度の怪死、何んといふ惜しい事だらう、元氣溌剌として殺しても死にさうにない若い空界の

□巨人と　共に氷菓子に舌鼓を打つた暑い七月の夜の幾時間は私にとつて生涯忘れ難い悲しい記念になつてしまつた（B記者）

●お召コートの袂に遺書

千葉女子師範學校堤上の慘劇

芳川伯爵家若夫人情死の詳報

七日午後六時五十五分千葉發本千葉驛行單行機關車が縣立女子師範學校側を進行中年若き婦人線路に飛び込み無慘にも刎ね飛ばされて重傷を負ひたるが飛び込み遲れたる同行の靑年は斯くと見るや同校の土堤に倚り掛りさき短刀にて

▲咽喉部を突き　刺し其場に打倒れたり、この屆出でに依り千葉警察署より係官出張檢視せるに婦人は左頸部に深さ骨膜に達する重傷を負ひ苦悶し居り男は咽喉部の氣管を切斷し絶息し居たり婦人は直ぐさま病院に入院し應急手當を加へたるも生命覺束なし

婦人の服裝は銘仙絣と縞お召の袷に緋縮緬の長襦袢を著し縮珍の丸帶を締め眞珠入りの金指輪を嵌め十二圓餘を入れたる蟇口を所持し男は紺羅紗詰襟の洋服を著し男の

▲黒外套の隱袋　婦人のお召コートの袂には各々遺書一通を所持し居たり右男女の身元を精探したる結果婦人は麻布宮村町正二位勳一等伯爵樞密院副議長芳川顯正氏の養子なる子爵曾根安輔氏の實弟寬治氏夫人鎌子（二七）（伯爵の三女）にして長女あき子（五）あり男は同邸の自動車運轉手倉持陸助（二一）なる事判明せり其の内容に就ては同家及び警察側にて

秘密となし居る結果

未だ判明せざるも

千葉病院に入院せる鎌子夫人の許へは八日早朝貴族院議員尚寧七郎氏急行したり（東京特電）

●信成丸　獨逸潛航艇に擊沈さる

六日ボート、サイド航行中

長崎市原氏の所有船信成丸（二八三七噸）はポート、サイド航行中六日獨逸潛航艇の爲め擊沈されたる旨電報ありたり（大阪特電）

◆すつかり元氣になつた　關屋局長

大阪附近住吉の勝地に煙霞療養中なりし關屋學務局長は七日夜久しぶりに内地から歸京昨夏七月以來留守をあけて居たが病氣は七八分方癒つて以前よりもまめになつたと大元氣、永登浦まで出迎へた學務局の小田編輯課長や弓削學務課長以下の人々を一等車内に請じ入れて背廣中折でなか〳〵の元氣、若い夫人はまた婦人作れのお出迎ひと御挨拶に忙がしさう、汽車は廿分ばかりおくれて午後九時廿分南大門驛着、此處にも大勢の御出迎ひで『ヤア暫く〳〵!!』

（三日は久し振りにて出勤した局長）

●領事館は地獄、警察は極樂

哈爾賓總領事館十周年祝賀會の賑ひ

邦人の發展を祝して祝盃を擧ぐ

哈爾賓總領事館では本年は開館十周年に相當するところから佐藤領事の

□發起で　舊節句の三日午後八時半から十周年記念祝賀會を催し哈爾賓在留邦人百餘名を招待した、その會場は領事館内でその設備たるや奇々怪々

□來會者　を呀と言はせたのは本館の地獄に警察署の極樂だ、應接室が舞臺に食堂が休憩場、書齋を喫茶室に寢室が模擬店に充てられたのはいいとして

□招待を　受けて來會した者は玄關前の六道辻に閻魔大王に扮した給仕が立つてゐて睨みこくつて物言はず地獄極樂の二道を敎へる、鬼も落ち合ふ先きは

□二階の　休憩所だが極樂の警察署廻りを敎へられた人は電氣應用の飾裝美々しく御多福の面を冠つて白衣を著けた蓄音機が唱つてゐるので愉快に通るが

□地獄に　廻された者こそ災難で中に入ると薄暗い所には大蛇が在り、墓があり、磔刑に遭つた者、木陰に佇んで悲鳴を上げる白衣の幽靈などがあつて薄氣味の惡い事夥しく、然し之れも愛嬌で聽て

□定刻に　なると愈々祝宴に移り佐藤領事の挨拶、杉野書記生の開館以來の領事館史と市民の發展の說明、河井民會長の祝辭等があり盛に

□祝盃を　擧げたが記念品の陳

●京都　末廣座の全燒

八日朝京都市大宮末廣座より出火し同劇場を全燒し隣家四戸を半燒せり（大阪特電）

●大八車に躁る

仁川海岸通十八銀行前六號倉庫角に於て八日午前十一時頃朝日組大八車が米俵を滿載の上勢込んで發坂にかゝらんとする處に折惡しく立ち居たる鮮人勞働者某を轢倒し大腿部の邊を乘越えたる騷ぎに官出張直ちに警察署に擔ぎ込みたるが幸ひにして挫折はせざりしも何分百數十貫に達する重量に壓されたる事とて此處數日間は歩行自由ならざる可し（仁川）

●內地虎疫狀況

最近調査に係る內地虎疫狀況左の如し

府縣名	新患者	累計	府縣名	新患者	累計
東京	…	四	山口	二	一〇五
大阪	一	一五	香川	一	五
兵庫	一	一九	愛媛	…	一八
長崎	五	五一	新潟	五	七六
千葉	…	一	大分	…	三
島根	一	三六	佐賀	…	八
岡山	…	三	熊本	…	二
廣島	…	七	合計	一六	三四三

●喧嘩の罰

七日午後十時五分頃京城笠井町相應惣（三一）は南大門通二丁目農工銀行前に於て泥醉したる際他の者と喧嘩をなし居れる際電車

◇李載潤氏邸の歡會

親孝行の李鍾翊氏趙重應子爵等の斡旋になる內鮮人融和の大正親睦會員は七日の夜市內三角町の李載潤氏邸に招待された、これは

◇會の趣旨　から云ふも一般家庭の交際を敎くした方がよいとの意味で極て家族的に招待された次第であつた、されば主人側でも邸の內房に食堂を設らへ後來

◇朝鮮では　曾て試みられた事もない打ち解けた會合であつた、お客側には松永道長官、鮫參與官、入澤第一部長、宮舘第二部長、隈部警務部長、松井、宮舘兩署長、水口稅務課長、阿部本社長等十數名何れも

◇非常なる　滿足であつた、それに主人の李載潤氏は曾て前韓國時代の嘉善大夫從二品の高官にあつた人で且つまた有名な李齊賢氏の遠孫にあたり當年八十一歲の高齡といふのに血色壯者を凌ぐものあり且つまた令息の李鍾翊氏（三九）といふのが評判の

◇親孝行者　なので一同非常に滿足であつた斯くて席上の餘興には孝子の家に因んで京城評判の孝子妓生三人を選びどれに孝行を歌つた唄と舞とを試みたのも興多く

◇會員の中　には招宴の歸るさ內鮮人の喧嘩を見て調停した人もあつたとかで親睦會の効立所にあらはれたとこれも大悦びであつた

線路に足を踏込みたる際打倒進行し來れる六十六號電車に觸れて右足首を挫折したるが會社にて應急手當を加へたり

●恨みの放火

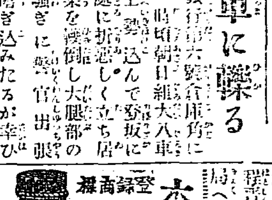
黃海道瑞興郡禾回面梨樹洞李長孫（二七）は二月二十二日夜同里の劉成龍（三〇）と飲酒酩酊の上同伴して歸宅の途中喧嘩を初め長孫は成龍に五箇所の創傷を負はせたる上同人が反抗したるを憤り同夜十二時頃成龍方に放火したるも直ちに里長が消止めたること此程新幕憲兵分隊の探知する所となり長孫は同隊にて取調べの上檢事局へ送らる

●毆つたが因

慶南晉州郡平居面柳谷里大工朴春景（四三）は先月四日午前十一時頃姜孫永同里の金三秀（三七）方にて密會の現場を取押へ激しく三秀を毆りつけたる爲め同人は急性肋膜炎を惹起し同月二十三日遂に死亡したること發覺し春景は此程晉州警察署に引致取調べの上檢事局へ送られたり

●屍體遺棄

七日午後京城冷洞東洋牧場前の山麓に姙娠八箇月位の嬰兒の屍體を遺棄しあるを發見したるが約一週間を經過しゐたるものの如く屍體は殆んど獸類に食はれ頭部のみ殘りゐたりと



本椿香油の大名譽

實業博覽會に於て數多き髮油の內獨り我本椿香油のみ金牌の榮譽を荷へり

故に襲きに宮妃殿下及宮内省御內儀御用の光榮を拜し華族貴顯方は勿論上流社會に於て盛に愛用せられつゝあり

如何に本椿香油は他の髮油より勝れるかを知られよ

●注意　頭上桶なきは僞物なり

●定價　卅錢、卅錢、六十錢、一圓

……前年同期に比し十四萬一……十六圓何れも增加を示し輸……て前月に比し一萬一百八……

……はず一方密正なりしため米穀類の出……市少なく從て移入品の荷捌も亦捗々……

……替取組受入高六萬六千六百八十七圓……拂十萬三千七百零六圓にして同月末……

……圓なりし倘ほ當月に入りては殘存せ……る米穀類の出動見るべく又追々夏物……

……貸出二萬二千圓回收一萬五千圓現在……出金上萬三千二百圓なり右貸金用途……

●暴風警報（三月八日午後三時發）▲低氣壓は[illegible]▲警戒文風强かるべし▲……南北道慶尚南北道及び……

公告

京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

●京城府元町貳丁目九拾六番地
一雜種地四百八坪
最低競賣價額金七百五拾圓也
一京城府元町參丁目五拾番地
一田貳百八拾七坪
最低競賣價額金貳百六拾圓也
一京城府榮町四番地ノ壹
一林野四百四拾八坪
最低競賣價額金貳百六拾圓也
一同所四拾貳番地ノ貳
一林野百七拾壹坪
最低競賣價額金百五拾五圓也
一同所參拾四番地
一垈八拾坪
最低競賣價額金參百五拾圓也
一同所四拾番地
一垈四百貳拾七坪
最低競賣價額金壹千五百五拾圓也
一同所四拾壹番地
一雜種地六百拾八坪
最低競賣價額金壹千七百圓也
一同所參拾九番地ノ壹
一垈四百七拾貳坪
最低競賣價額金壹千七百圓也
一同所參拾八番地
一道路百拾七坪
最低競賣價額金壹百五圓也
一同所四拾參番地
一垈四百五拾壹坪
最低競賣價額金壹千六百五拾圓也
一同所參拾參番地
一垈九拾六坪
最低競賣價額金參百九拾圓也
右　競賣申立人　東洋拓殖株式會社　不動産所有者　樋口平吾

●京城府南米倉町八番地ノ貳
一垈百九拾七坪
最低競賣價額金壹千八百七拾壹圓拾五錢也
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪九拾八坪八合貳勺
附屬建木造瓦葺平家建壹棟
此建坪拾五坪七合壹勺
附屬建木造瓦葺平家建壹棟
此建坪五坪五合貳勺
最低競賣價額金貳百七拾貳圓拾六錢
右　競賣申立人　株式會社漢城銀行　不動産所有者　韓世顯

●京城府太平通貳丁目七拾參番地
一垈貳百五坪
最低競賣價額金五千八百四拾貳圓五拾錢也
●京城府北米倉町九拾四番地
一垈九百拾參坪
最低競賣價額金壹萬九百五拾六圓也
右　競賣申立人　高橋久吉　不動産所有者　工藤武城

●京城府雲泥洞貳拾四番地
一垈七拾四坪
最低競賣價額金參百圓也
右　競賣申立人　柳般相　不動産所有者　柳漢鼎

●楊州郡州內面古邑里貳四六番地
一田壹千貳百六拾九坪
最低競賣價額金貳拾五圓也
同所參四五番地
一田四百六拾九坪
最低競賣價額金九圓也
同所四壹番地
一畓四百八拾貳坪
最低競賣價額金參拾四圓也
楊州郡州內面三崇里四百五番地
一畓參百拾九坪
最低競賣價額金拾六圓也
楊州郡州內面古邑里百拾八番地
一畓壹千九百八坪
最低競賣價額金百參拾四圓也
同所參百五拾參番地
一田壹千百九拾坪
最低競賣價額金四圓也
同所貳百九拾八番地
一垈貳百九拾七坪
最低競賣價額金拾五圓也
同所參百壹番地
一垈九拾九坪
最低競賣價額金五圓也
同所參百四番地
一田七拾五坪
最低競賣價額金壹圓五拾錢也
同所貳百七拾八番地
一田壹千八百坪
最低競賣價額金五拾四圓也
同所貳百七拾九番地
一垈五拾八坪
最低競賣價額金參圓也
同所貳百八拾番地……

右　不動産所有者　鄭憲榮
以上競賣期日ハ大正六年參月貳拾壹日午前拾時トス

第十回決算報告

自大正五年一月一日　至大正五年十二月三十一日

貸借對照表

資産

科目	金額
未拂込株金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇
現金	[illegible]
郵便振替貯金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
貸付金	[illegible]
有價證券	[illegible]
身元保證金代用有價證券	[illegible]
不動産	[illegible]
什器	[illegible]
未收利息	[illegible]
未收保險料	[illegible]
代理店貸	[illegible]
假拂金	[illegible]
本店建築假拂金	[illegible]
預託金	[illegible]
合計	四、參參參、八五九、四參七

負債

科目	金額
株金	壹、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
法定準備金	[illegible]
責任準備金	[illegible]
生存分配準備金	[illegible]
保險契約者配當準備金	[illegible]
支拂備金	[illegible]
株主配當未拂金	[illegible]
身元保證金	[illegible]
假受金	[illegible]
利益金	[illegible]
合計	四、參參參、八五九、四參七

利益金處分

科目	金額
利益金	[illegible]
內　法定準備金	[illegible]
特別積立金	[illegible]
保險契約者配當金	[illegible]
利益分配	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
株主配當金	[illegible]
創立十週年記念配當金（年五分）	[illegible]
次年度繰越金	[illegible]

右の通相違無之候也

大正六年貳月

日清生命保險株式會社

取締役社長　中野武營
專務取締役　池田龍一
取締役　牟田口元學
取締役　山田英太郎
取締役　田中唯一郎
取締役　增田義一
取締役　前島彌
支配人　田中小太郎

會社の帳簿及財産を調査し前記の通相違無之候也

監査役　上遠野富之助
監査役　金澤種次郎
監査役　鈴木寅彦

日清生命保險會社　京城黃金町二丁目　朝鮮出張所

日常法律問題　實業法律　三月號　每月一回　一部卅錢　一年前金三圓五十錢

▲一般法律問題平易說明解答滿載
▲國民の實用的法律思想普及機關
▲一年極讀者實問疑惑迅速解答す

目次（第七十五號）三月號
▲不動產取戾と時効
△他の商號登記と差止權
▲保險の契約と大注意
△代金の請求はドコへ訴へるか
▲內容證明と素人の誤解
△總選擧と罰則及判決例（二十餘件）
▲新え方で得策不得策
△病人枕元遺言の方式
▲身元保證金の取り込み
△損害登記と安全策
▲年季契約の違反と損害
（外數十項）
□各地擴張支部員募集す

東京麴町區紀尾井町三　實業法律社　振替東京一六六七六番　電話番町四七六六

怒濤の月

百一　小林蹴月作　武内桂舟畫

慈悲？無慈悲？『十八』も

『お靜よ、何處へ行くだよ。默まりこくつて相談半ばに飛び出す白痴者はねねだよ。』

老婆は、心配さうに眼を瞬たきながら呼んだのである。けれども、お靜は、それを聞かぬ態して、すたすたと新家の方へ走つて了つた。

『又必定、お作どんとこへ泣語言ひに行つたに違ねねだが……ほんに／＼困つた事になつたもんだ。それに就けても先生さま、お前さま、妾等が娘の方は、どツ、什うして下さるだの？』

老婆はもう一生懸命であつた。

『……………阿母さん、御無理はありません。何と被仰られても、僕がわるかつたんですから、勘忍して頂くより外には…………。』

『それが不可ましねだと云ふ事さ。俺や義郎は、自分の身のこんでねねだから、お前さまの事情を察して、勘忍も爲ますだが、本人の彼女の身にも些とは、成て見てやつて下せねよ。若い娘が、思ひ込んだ亭主に嫁はれたと爲たらば、お前さま、什う納まりの著くもんだと思はつしやる。昔からの芝居や淨瑠璃は嘘は吐かねもんでの、尼さまになるか、オッ死んでも了ふのが、ト、の詰りと極つてるだよ。お前さま書でも描いて、世の中を渡らしやらうと云ふ立派な先生が、他の娘を見殺しに爲て、それで事が濟むと思つて御座るだかよ。妾等にばかり口利かせねわで、何とか目鼻の明いた返事を爲て下さりやんしよ。』

老婆は、火竈でがちや／＼爐縁を叩き立てながら、噛み付くやうに責め付くるのであつた。

『阿母さん、まあ／＼、僕にも少し考へさして下さい。何だかもう頭の中がゴッタ返して居るので、思案もお返事も出なくなつて了つたんです。』

お靜の問題も問題に相違ないのであるが、幸三郎の胸中には、細代からの手紙の一件が、より以上氣に懸つて、屑繩のやうにこんがらかつて居るので、何方が何方とも決心の据ゑやうがないのであつた。

『考ねるも考ねねも、過ぎ去つた話と云ふもんで御座るだよ。眼前に居る妾等が娘の事から先へ……。』

『阿母さん、其處を何卒少時考へさして頂きたいと言ふんです。必ず必す、靜さんを見殺しに爲るやうな無慈悲な事は爲ません。』

『無慈悲な事を爲ねねだと言はしやつても、現在の今日までのお前さまの仕打が、それで慈悲の遣り口と云ふもんで御座るかよ。女大學一冊讀んだ事なくても、それ位の事が慈悲か？無慈悲か？の差別を知らねねで此の老年まで生きて居られるもんでねねだからの。大抵田舍者扱へに爲といて貰ひませうぞ。』

『然う御立腹では、到底お詫びも何も爲る事が出來ませんから、何卒まあ義郎君のお歸りになるまで、此のお話は暫時貴女の胸に預つといて下さい。僕もそれまでは、何とか思案を決めたく思つてゐるんです。』と、幸三郎は、只管に縋り頼むのであつた。

『それ程に言はしやるだら、まあ然うに爲ときますだかの……お前さま、豊夫妾等が娘を置きッ放しで、東京へ逃げてくやうな事は爲なさるめねだの。』

西洋料理『電氣すき焼』ハイカラ丼　おいしい事京城第一との高評を博し居り候　南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

『誓つて、そんな不徳義な事は爲ません。』

幸三郎は、斯う言つて、[illegible]つたが、今更にお靜が延べといて呉れた寢床へ潜つて、頭を[illegible]さうと云ふ氣分にもなれない例の縁先へ出て、うす霞んだ海の空を視ながら、細代の事とお靜の事とを、ちく／＼ぐに考へては、獨りで悶へ苦しんで居るのであつたが、只徒らに時が經つばかりで、是から什うしやうと云ふ決心も付かない。

日影の容子では、もう正午を過ぎたやうであるが、お靜はまだ歸つて來ぬのであつた。自身も勿論、空腹を感ずるどころではないので、寧その事、稲荷の杜へでも行つて、靜かに頭腦を落著けて見るのも好からうと思ひ直した。老婆には斷りもなく、再び散歩の體で出かけやうと爲ると、近邊の腕白等が三四人、呼吸を切らして『大變だ／＼』と、喚めき立てながら、門口の方から駈け込んで來るのに出會つた。

『大變とは何事かね？』

幸三郎は、何がなしに胸が動悸ついて來たので、覺わず杖を停めて、小供等に訊ねた。

皮膚病　黴毒病　痳病　腸胱病　生殖器病　機能障碍
京城明治町二丁目（元南山町）　佐藤醫院（電話一七三三番）
入院隨意（診察夜九時迄）　日曜祭日午後二時迄

□優れた潛水器

▲平和後の大金儲の爲め

○今回の大戰で海底の藻屑となつた船舶の數は實に夥しい物であるが平和克復の後に此等の沈没船艦を引上げる事は經濟上重要な事である、そこで目下平和後の大金儲けを目論で新しい潛水器を發明してゐる者が尠くない、然し何と云つても獨逸は此の事業に最も優れてゐて戰前獨逸領各地で使用されてゐた物を見ても英米の物等よりは遙かに有効且つ安全で其根本の製造原理からして大に違つてゐることが判る

○今回獨逸で新案された潛水器と云ふは從來の潛水器が最も缺點とされてゐた送空器が頗る完全に出來てゐる、即ち從來の潛水器は長い護謨管で水上から水中の潛水夫に空氣を送るのであるが水が深くなると管が水壓の爲めに狹められたり其他種々な危險な狀態を惹起するのであるが新案の物は各潛水夫の背部に壓搾空氣を詰めた空氣罐を背負はせ大きな鐵の箱に入つて海底に下る此の箱の中には電話もあり仕事の道具もあり更に人夫が海底で危險に遭遇した場合には直に此の箱の內に避難が出來る、強力な探照燈を備へられる、此箱に[illegible]に依る[illegible]下る事が出來る、此の[illegible]の如何なる潛水器でも入る事が出來なかつた、潛水夫背中の空氣罐の空氣が人間の口に入つて汚れると其をフ[illegible]ポタツシユの藥品で作られた空氣淸淨器を通つて再び新しい空氣に歸る事が出來る又酸素アセチリン切斷器を用て海底の船體の鐵材を自由に切り開くから仕事は容易である

◎慶應大學の醫科新設　慶應義塾大學部にては來る四月新學年開始に際し大學部、理財、政治、法律、文學の各科の外に醫學科を新設し（幼稚舍、普通部、商工學校、大學豫科）の各一年へ入學を許す筈なるが、特に本年よりは昨年來計畫の醫學科寄附金も百五十餘萬圓に上り目下設備着々進捗し居り他科と同樣來る四月より授業開始し得べき段取りなるを以て此際豫科一年一百名を募集するよし、而して醫學科は豫科二ヶ年、本科四ヶ年の修業年限にして北里博士學長として學務に當り從來の醫學界に於ける弊風を取り、相互扶助的に研究を進めて[illegible]科に[illegible]く、且義塾一流の人格の士を養成する[illegible]なりと、入學試驗期日申込手續等は廣告欄を參照せらるべく、規則書は義塾へ宛て郵券二錢を送付せば郵送せらるべしと

新刊紹介

▲學校敎育（三月號）戰後の理科敎育問題（大島鎭治）兒童の閑暇利用法（白井規一）遺傳の基礎（神谷辰三郎）等有益なる論說を載す（十八錢東京市日本橋區本石町寳文館）

▲西洋畫報（復刊號）純西洋趣味の畫報にて幾多の口繪及挿畫等は時事人情の機微を漏剩し得て深刻なるもの多く記事亦洒脫にして興味津々（二十八錢東京市牛込區市ヶ谷見附四ノ一共社）

▲自由評論（三月號）現時政界を論難せる記事數篇及大村伯爵家の秘密遂に暴露す等を載す（十二錢東京市麹町區飯田町七ノ一三共社）

▲第三和露句集　二百餘句を收む其一二を擧ぐれば[illegible]（三十錢神戸市兵庫東出町川西和露方）

▲養鶏と園藝（三月號）養鶏、園藝の二部門に分ち主として品質の改良及利殖に就て實際家の經驗に基く說を收む（十五錢大阪市東區味原町一〇二共社）

▲世界公論（政黨革新號）如何にして政黨を革新すべき乎なる問題に對する數名士の意見及經濟、社會、探偵ローマンス其他（十七錢東京市小石川區大塚坂下町二四共社）

▲財政經濟時報（三月號）本多、横井、三山中原各博士其他の執筆に係る財界各方面の論說如例既後雜誌中の白眉たるを失はず（二十七錢東京市京橋區尾張町一ノ一共社）

▲東亞之光（三月號）支那史より見たる歐洲（市村博士）戰國盛の形式及內容（紀平文學士）離婚に關する法律上の諸問題（穂積文學士）等（二十四錢東京市小石川區原町七八東亞協會）

▲地歴畫報（一ノ四）コロタイプの歴史參考圖繪數葉を卷頭に配し幾多の插入寫眞と共に地理歴史に關する興味あるものを蒐採せり（三十八錢東京市下谷區谷中初音町四ノ一四一醇會）

▲ザ、ジャパン、タイムス、スチューデント、エヂション（六の一四）十二錢東京市麹町區內幸町ジャパン、タイムス社

りん病特効新藥
化學六號劑エフエクチン
急性淋病、慢性淋病、消渇
ハガキで申込めば說明書無料進呈
試驗提供　切手卅錢送附せよ効力實驗を呈す
東京市本所區向島小梅町　東京藥化學研究所

わきがは人からきらはれる
若尾博士創見

オキシヘーラー
東京博愛藥院
實驗例說明書贈呈
本品は如何なる腋臭病（急性慢性共）も根本より治癒せしむ
京城本町一丁目　オキシヘーラー代理店

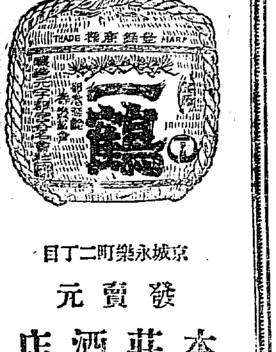
朝鮮總督府許可

人蔘エキス
内用　精能効　外用　精能効
人蔘直取引大販賣所
京城本町一丁目　滋養藥名産人蔘エキス一切　製造本舗　津村兄弟商會（電話一四八〇番・振替京城三五一〇番）
京城本町一丁目　津村兄弟商會人蔘部　電話一八七〇番
支店　龍山支店　大邱支店　釜山支店
本舗に御注文次第速に地方の方は直接本舗に依る事が最も安全且つ御便利に候

堀內新泉先生新著
當世百道樂
◎著者獨特の警句の奇觀屈利の筆現代の道樂を解剖し或は大に獎め大に戒め大に遊び大に笑ひ大に自省せしむる大文字深く強く現代を諷刺し搖覺せしむる近來稀有の快著也
四六判美裝　定價一圓廿錢　郵稅八錢
賣捌所　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

○飲み過ぎ○食過ぎ○消化不良○りうゐん○胸の痞へ○胸の痛み○慢性胃弱諸症に妙です
◎各藥店にあり
本舗　大阪江戸堀　猪飼史郎藥房

株式會社第一銀行京城支店
資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千〇五拾五萬圓
京城本町二丁目（振替貯金京城一二番）
支配人　西村道彦
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

優等清酒

京城永樂町二丁目
發賣元
本莊酒店
電話六五四番　振替京城六二〇番

石炭
明治町一
村山商行
電話一〇五一

新荷著
懷中時計

（ニッケル側・銀側・金側・十年保險・二十年保險 各種 十八形・十六形・十二形 等 價格 [illegible]）
右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの故御用命の程偏に奉願上候　地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
本店　京城本町二丁目電話九七二番　イングレツシー商會

大邱浦項間自動車時間

上り・下り　大邱發・浦項發　各便（[illegible]）
大塚農場自動車所　大邱出張部

日朝鮮郵船仁川出帆

全羅丸　三月廿六日　釜山發
京畿丸　三月廿一日
黄海丸　三月十一日
咸鏡丸　三月廿一日
　門司より釜山各港寄港基隆間航路
穩城丸　三月十四日
昌平丸　三月十一日　元山發
鏡城丸　三月九日
　元山より各港經由雄基行
昌平丸　三月十九日　元山發
　東京寄港長崎行
盛德丸　三月九日　釜山發
　甘浦、九龍浦、浦項各港寄港慶島行
江陵丸・寢陽丸　毎日　釜山發　浦項發
　長生浦方魚津寄港
三浦丸　三月十二日　釜山發
　長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港
海州丸・統營丸　三月十二日・三月十一日
○巨濟丸○慶寶丸　毎日　釜山發
　各寄港經由統營行
平壤丸　三月廿一日　元山發
忠清丸　三月廿一日
　鎭南浦、龍巖浦、安東、大連行
順天丸　三日目毎ニ　木浦發
　各港經由木浦行
慶興丸　三月十一日　木浦發
慶興丸　三月十四日　木浦發
　各港經由濟州島行西廻
公州丸　三月九日　木浦發
江原丸　三月九日　仁川發
　芝罘、大連、青島行
麗水丸・晉州丸　三月十二日・三月十八日　仁川發
錦江丸　三月十一日　仁川發
　海州他各港經由龍浦行
潮州丸　月日正午出帆
全州丸・南陽丸　毎日午前　仁川發
　江華島、喬桐島、海州行

共同汽船仁川出帆

伏見丸　三月十日午後入港　三月十二日正午出帆
芝罘、大連行
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡扱致候
阿波共同汽船株式會社

大阪商船仁川出帆

○外航路所属航路（沿岸航路を除く）乘船の時は五分引以て連絡切符發賣仕候
群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
永田丸　三月十一日
山陽丸　三月十八日　後五時出帆
天智丸　三月十一日　正午出帆
濟州丸
安東丸・安東丸　三月廿七日　後二時出帆
木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
群山、釜山、横濱行
福州丸・潮州丸　三月廿二日　後二時出帆
群山、神戸、大阪行
濟州丸　三月　日　後五時出帆
鎭南浦、大連行
東安丸・安東丸　三月廿二日・四月八日　後二時出帆
大連直航
潮州丸・福州丸　三月十五日・三月廿五日　正午出帆
清津、浦潮行（元山出帆）
印、城津、西湖津ニ寄港、浦潮不寄港
安平丸　三月十一日　後十二時出帆
宮島丸　三月廿一日
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸・基隆丸　三月十三日・三月廿九日　前六時・後四時出帆
仁川代理店　野口回漕店
京城取次店　南大門　河村運送店

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
大有丸　三月十日　後五時出帆
大吉丸　三月十八日　後五時出帆
秀吉丸　三月二十日　後五時出帆
君か代丸　三月十三日　後五時出帆
仁川海岸通一丁目　杉回漕部　電話五十九番

日本郵船仁川出帆

大連行、太沽（天津）行
和歌丸　三月十一日　正午出帆
相撲丸　三月二十日　正午出帆
花咲丸　三月　日　正午出帆
高砂丸　三月　日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　堀回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行
和歌浦丸　三月廿四日　後五時出帆
立神丸　三月十三日　後五時出帆
元山、清津、浦潮行
和歌浦丸　三月十二日　後十時出帆
立神丸　三月廿三日　後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　三月　日　後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　三月　日　後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天萬丸　毎月二日、九日、十四日、廿一日、廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　大池回漕部

京城切符發賣所　內國通運會社支店

大阪期米　三月限　四月限　五月限　六月限　（[illegible]）
▲大に賣る　▲大に買ふ　（[illegible]）